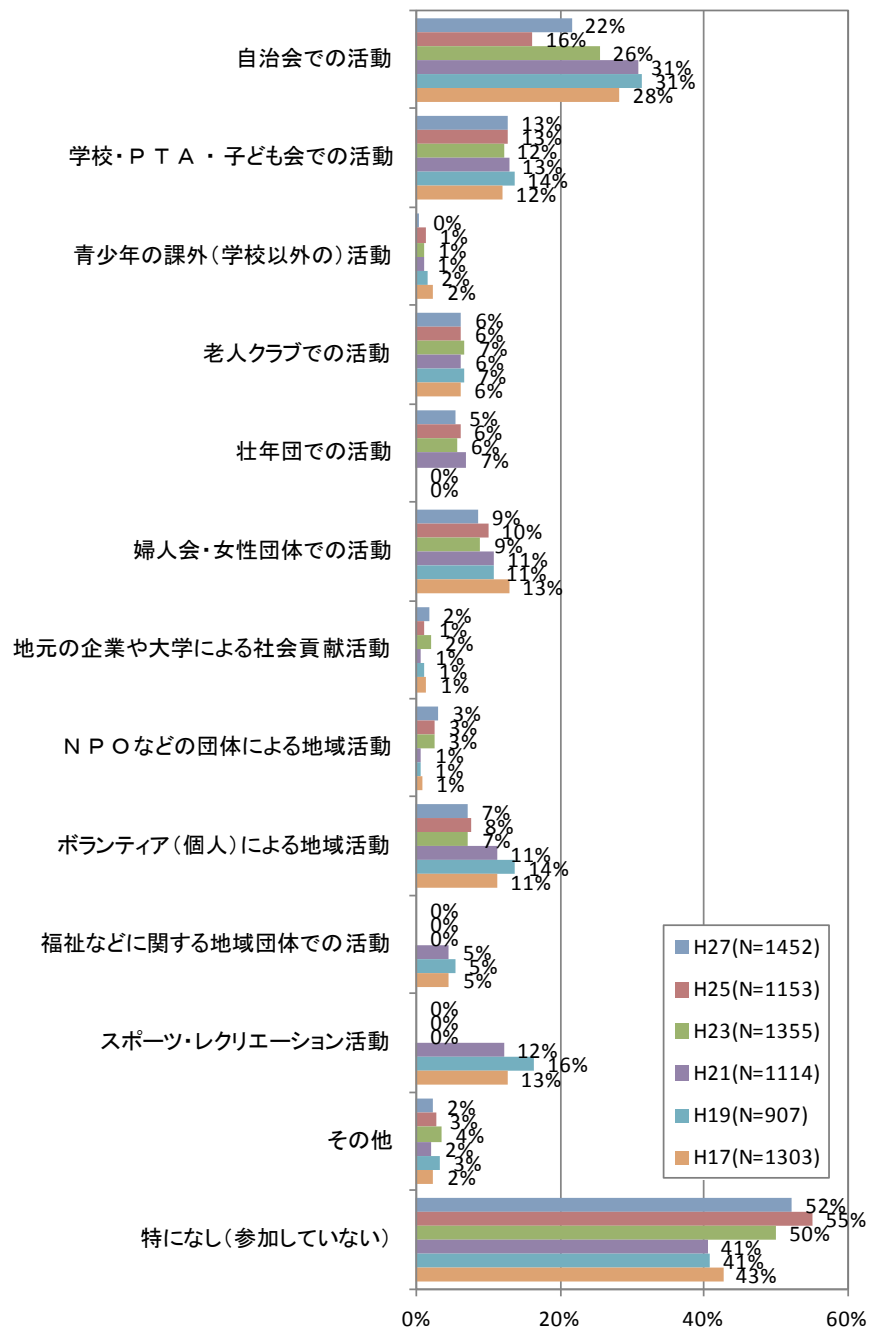


(7) 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

問 22

あなたは現在、仕事や学業とは別に、地域活動、ボランティア活動、市民活動として参加しているものはありますか？（当てはまるもの全てに○）

- ◆過年度調査結果とほぼ同様の割合となっています。
- ◆「特になし（参加していない）」が 52%で最も多く、次いで「自治会での活動」が 22%、「学校・PTA・子ども会での活動」が 13%となっています。
- ◆「特になし（参加していない）」が H25 に比べて 3 ポイント減少しています。一方、「自治会での活動」は増加傾向にあり、H25 に比べて 6 ポイント増加しています。



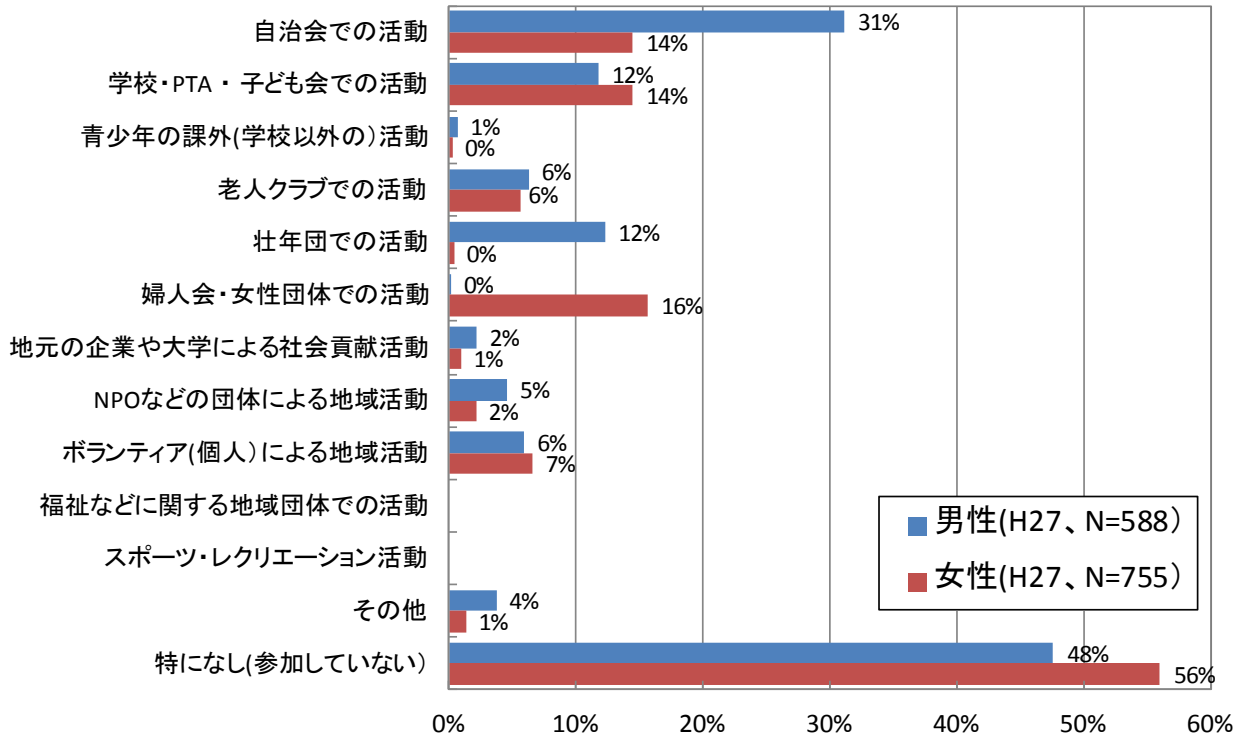
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（性別）

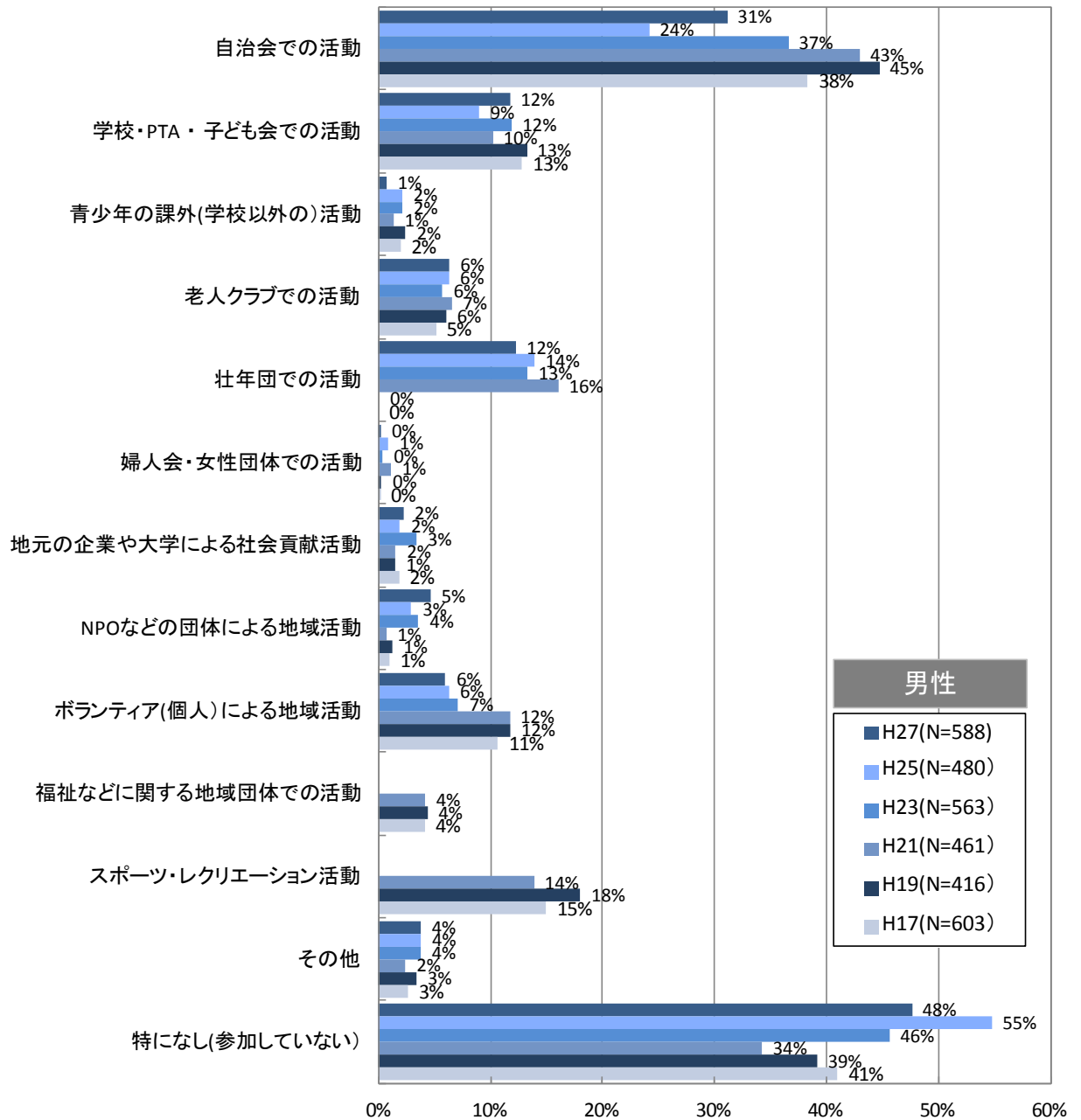
【今回（H27）】

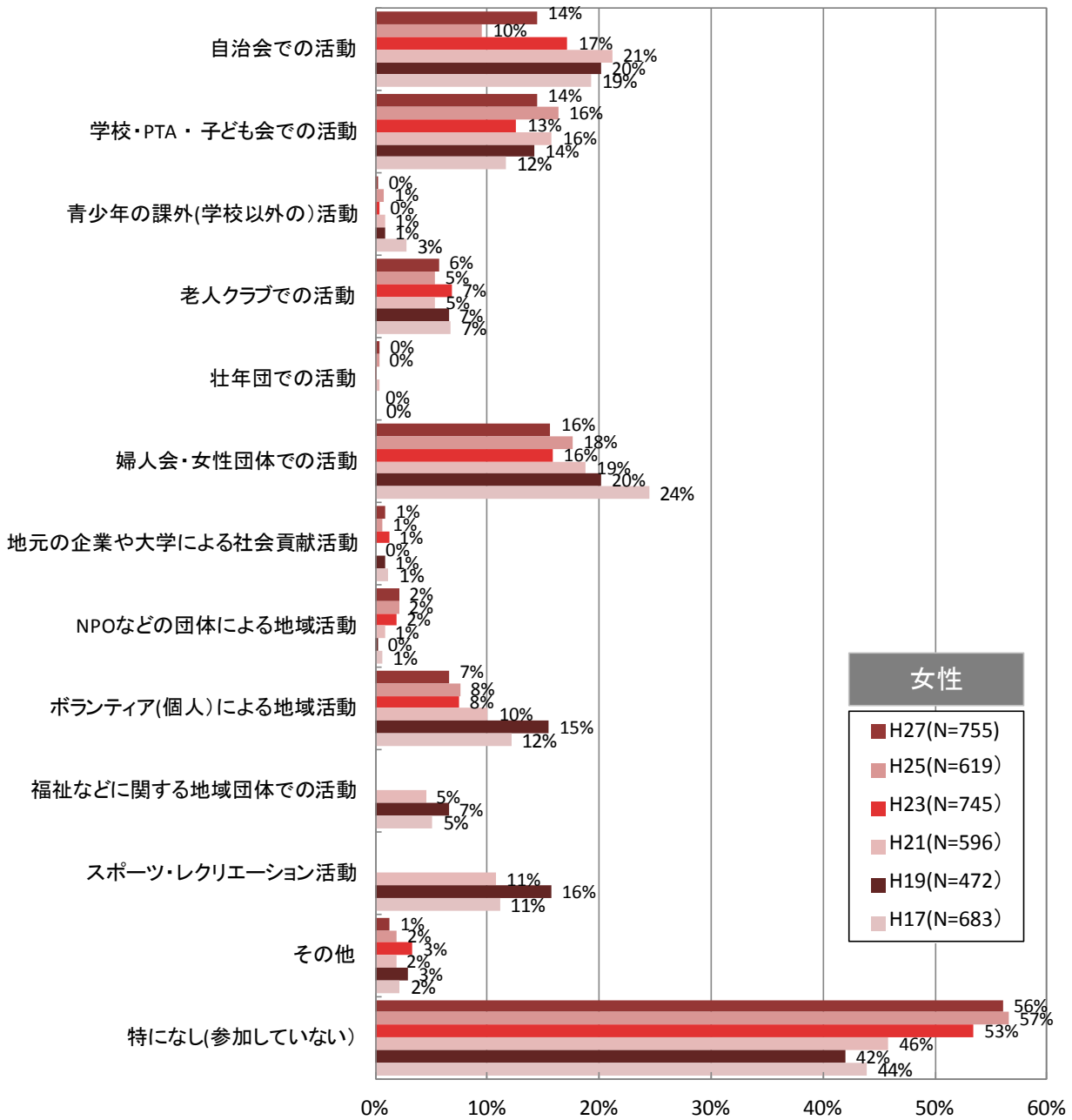
- ・男女共に「特になし（参加していない）」が最も多くなっています。
- ・男性は「自治会での活動」が31%と、女性より17ポイント以上高くなっています。
- ・女性は「婦人会・女性団体での活動」が16%、「自治会での活動」「学校・PTA・子ども会での活動」が14%で他と比べて高くなっています。



【経年変化】

- ・男性は「特になし（参加していない）」が H17～H21 にかけて減少傾向にありましたが、H23 以降は増加傾向になり、今回は H25 に比べて 7 ポイント減少しています。また、女性も「特になし（参加していない）」が、H19 以降増加傾向となっています。
- ・男女共に「自治会での活動」が H25 に比べて増加傾向にあります。

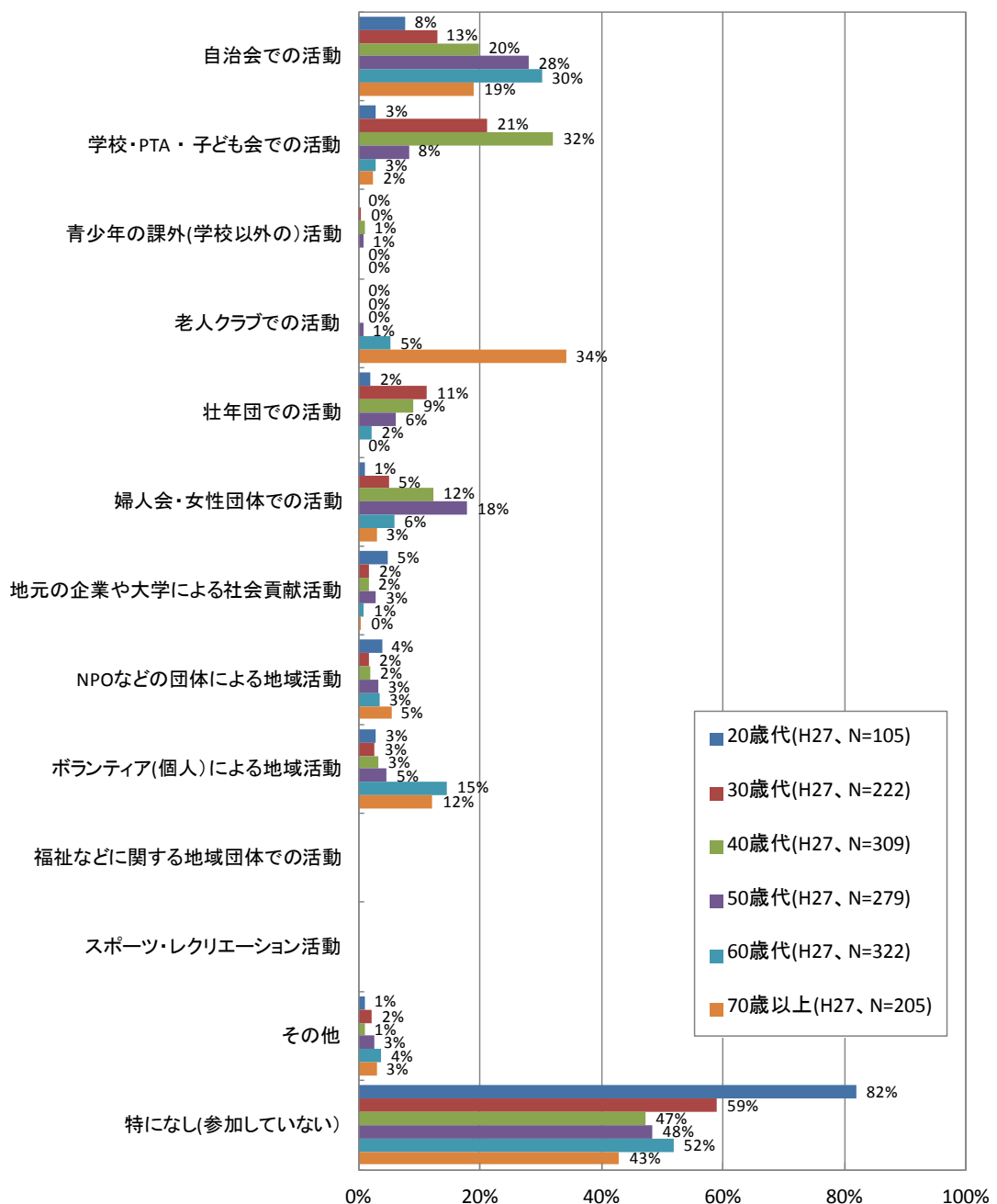




■地域活動、市民活動への参加状況（年代別）

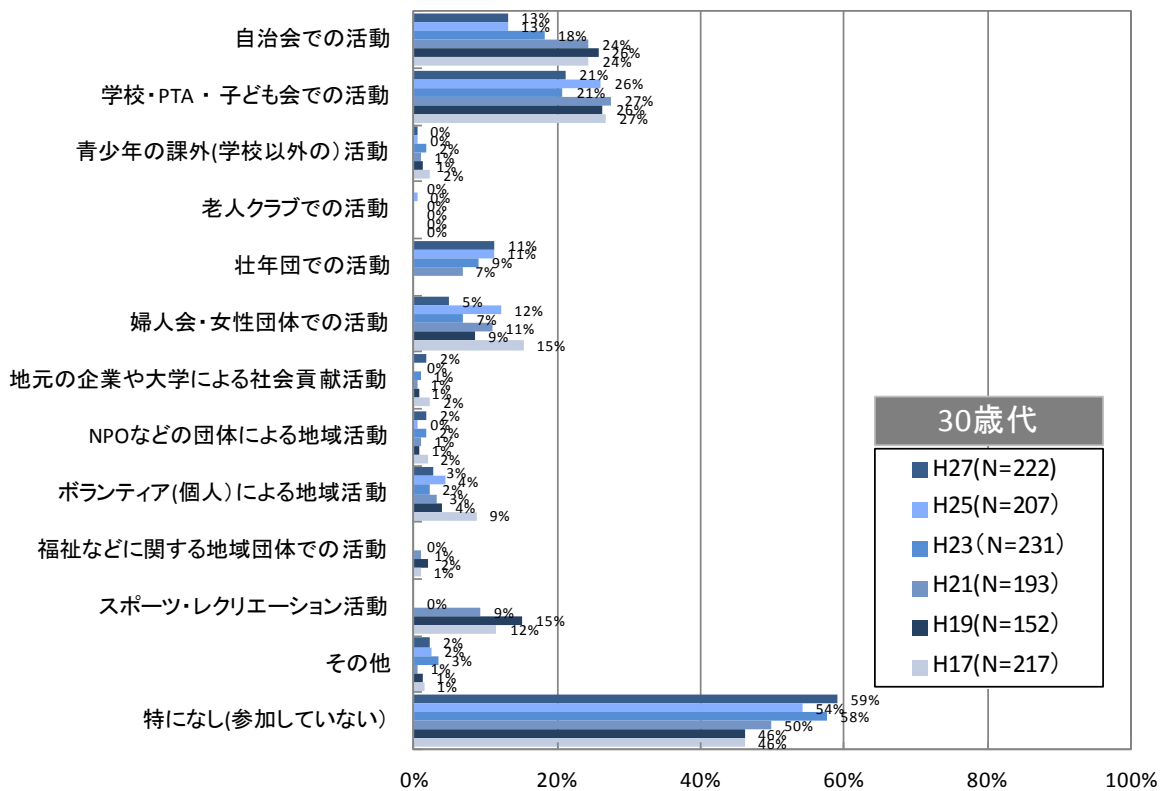
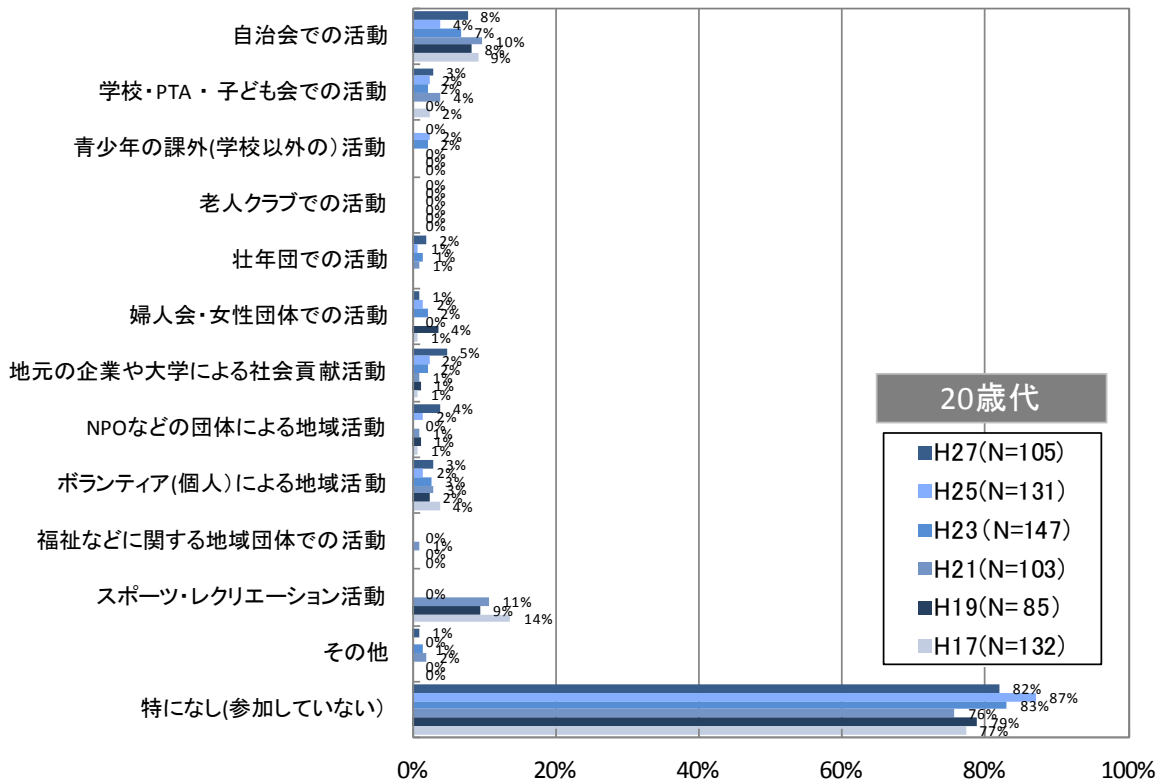
【今回（H27）】

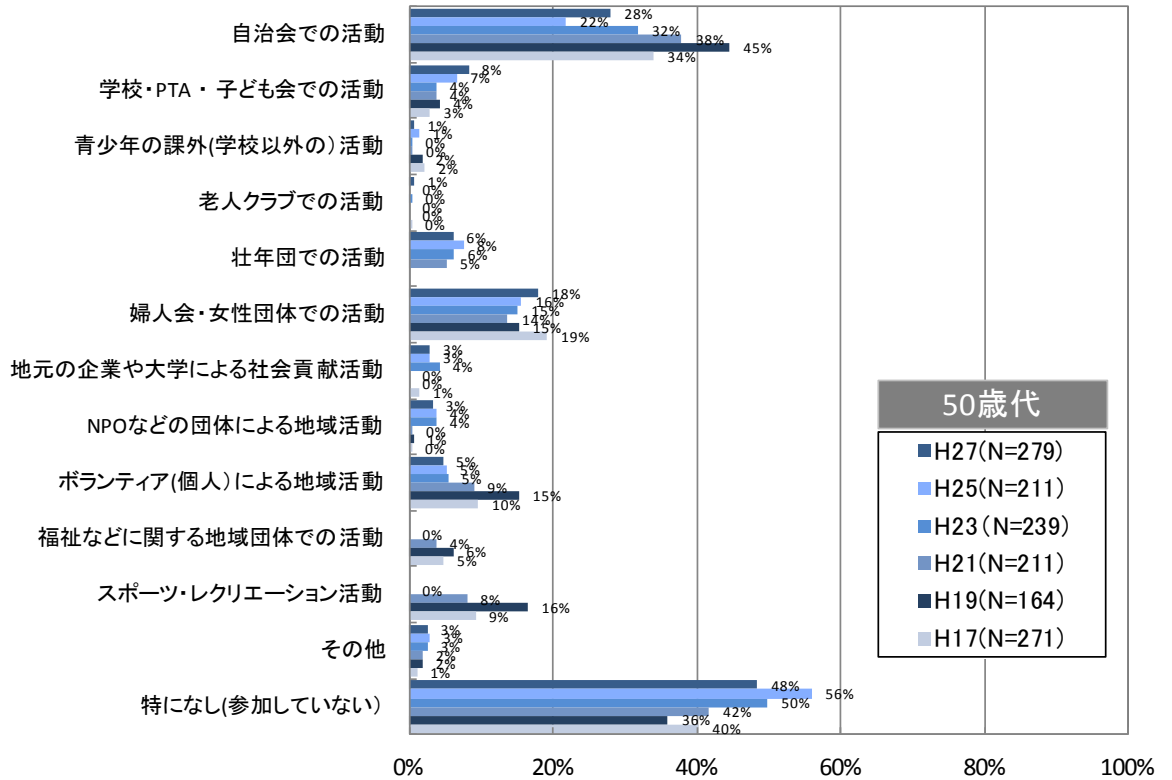
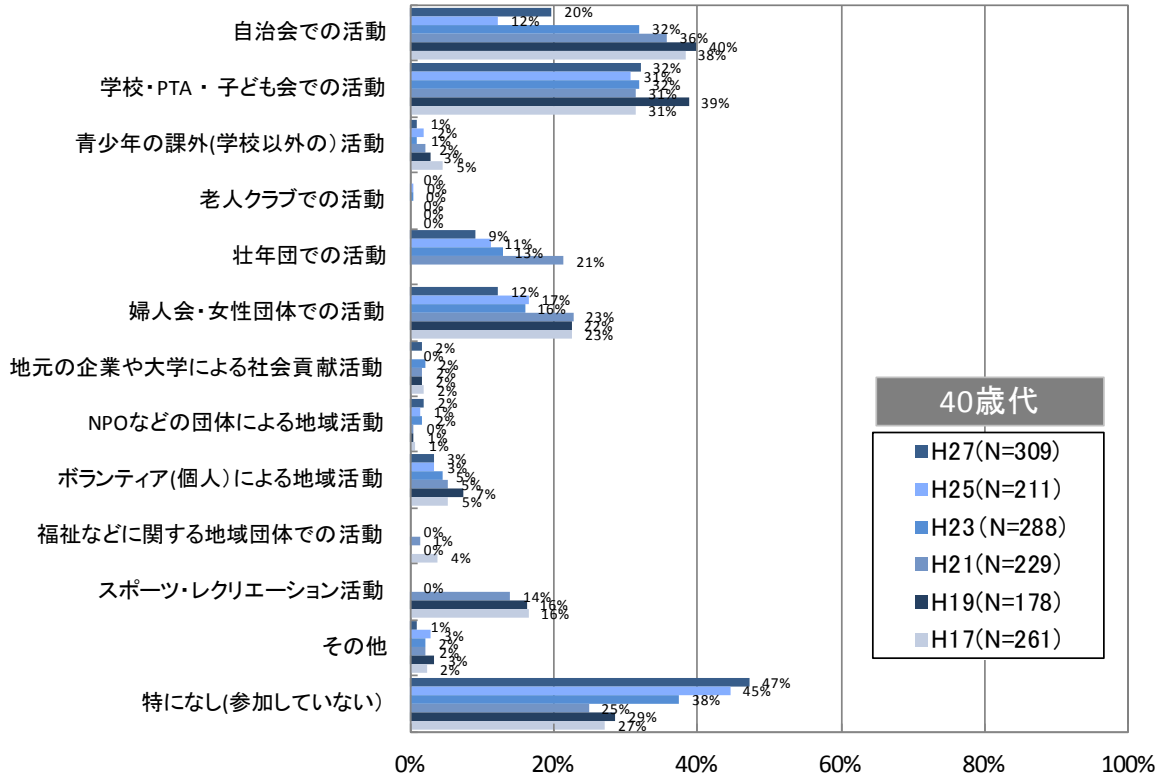
- ・全ての年代で「特になし（参加していない）」が最も多くなっており、特に 20 歳代は他の年代より 23 ポイント以上高くなっています。また、20 歳代は「自治会での活動」が他と比べて 5 ポイント以上低くなっています。
- ・30～40 歳代は「学校・PTA・子ども会での活動」が、他の年代より 13 ポイント以上高くなっています。また、「壮年団での活動」が比較的高くなっています。
- ・40～50 歳代は「婦人会・女性団体での活動」が比較的高くなっています。
- ・60 歳以上は「ボランティア（個人）による地域活動」が比較的高くなっています。
- ・70 歳以上は「老人クラブでの活動」が他の年代より 29 ポイント以上高くなっています。

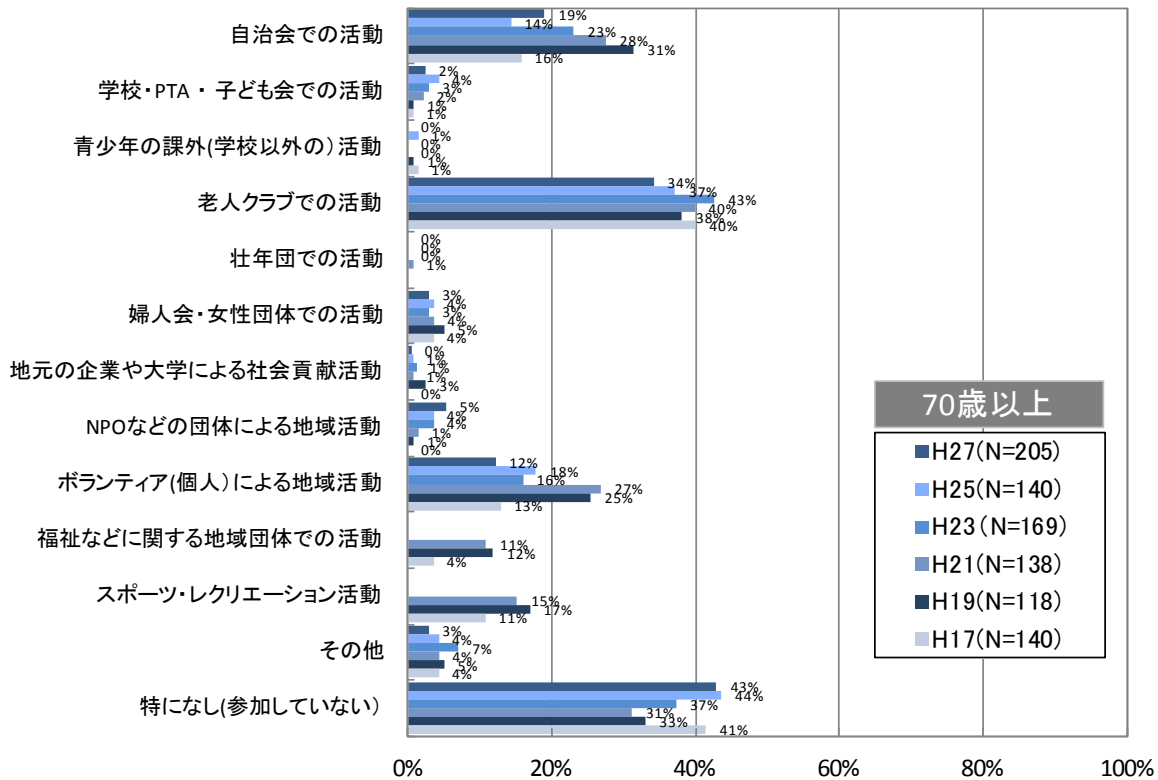
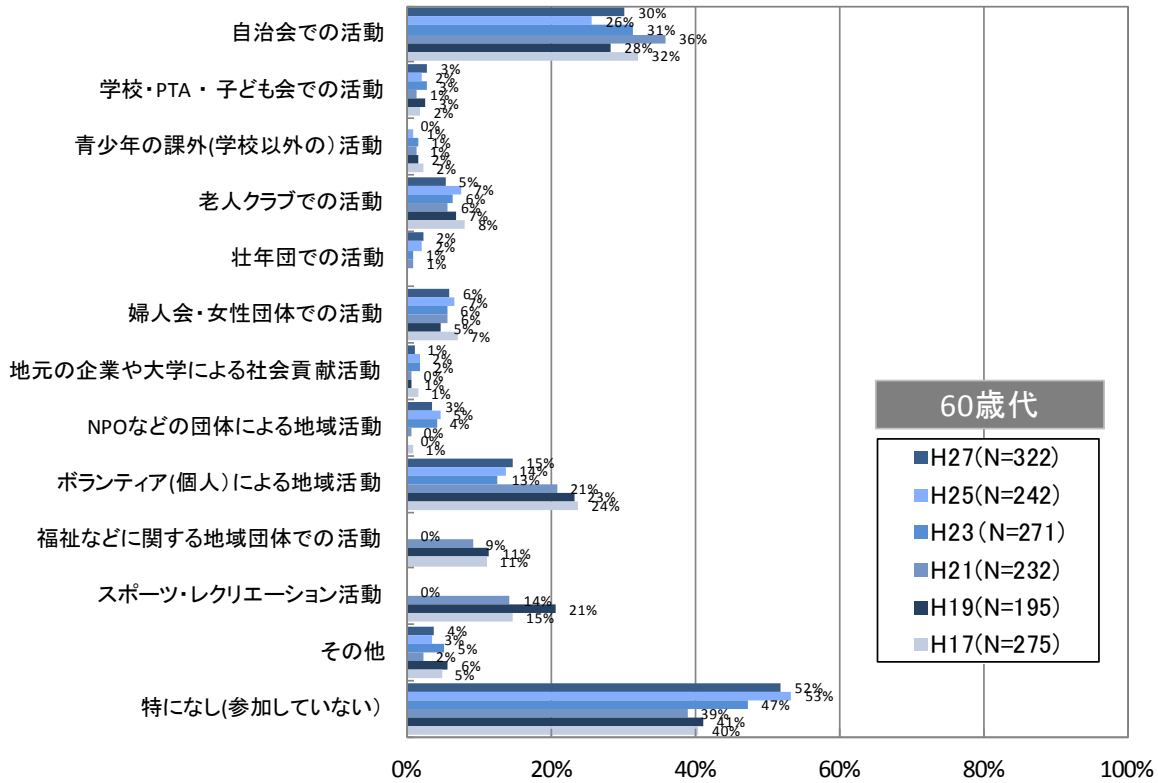


【経年変化】

- ・ 20 歳代で「特になし（参加していない）」が 8 割以上と他と比べて高くなっています。
- ・ 30 歳代、40 歳代で「学校・PTA・子ども会での活動」が他と比べて高くなっています。



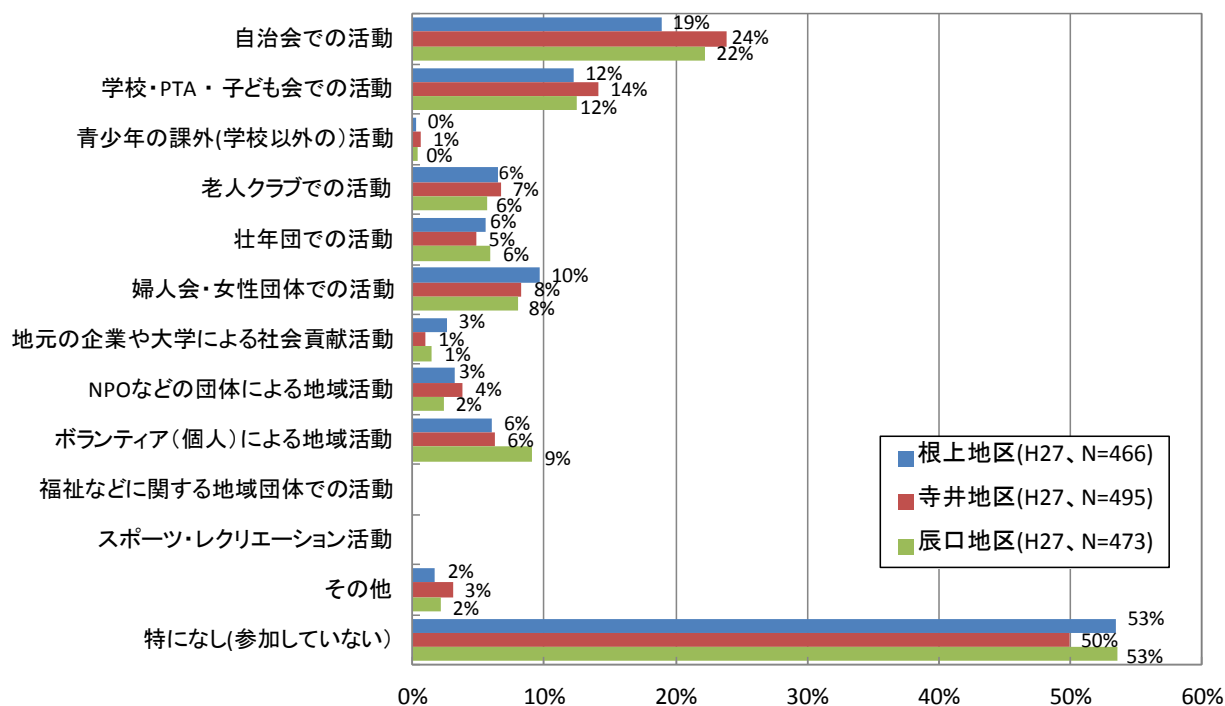




■地域活動、市民活動への参加状況（地区別）

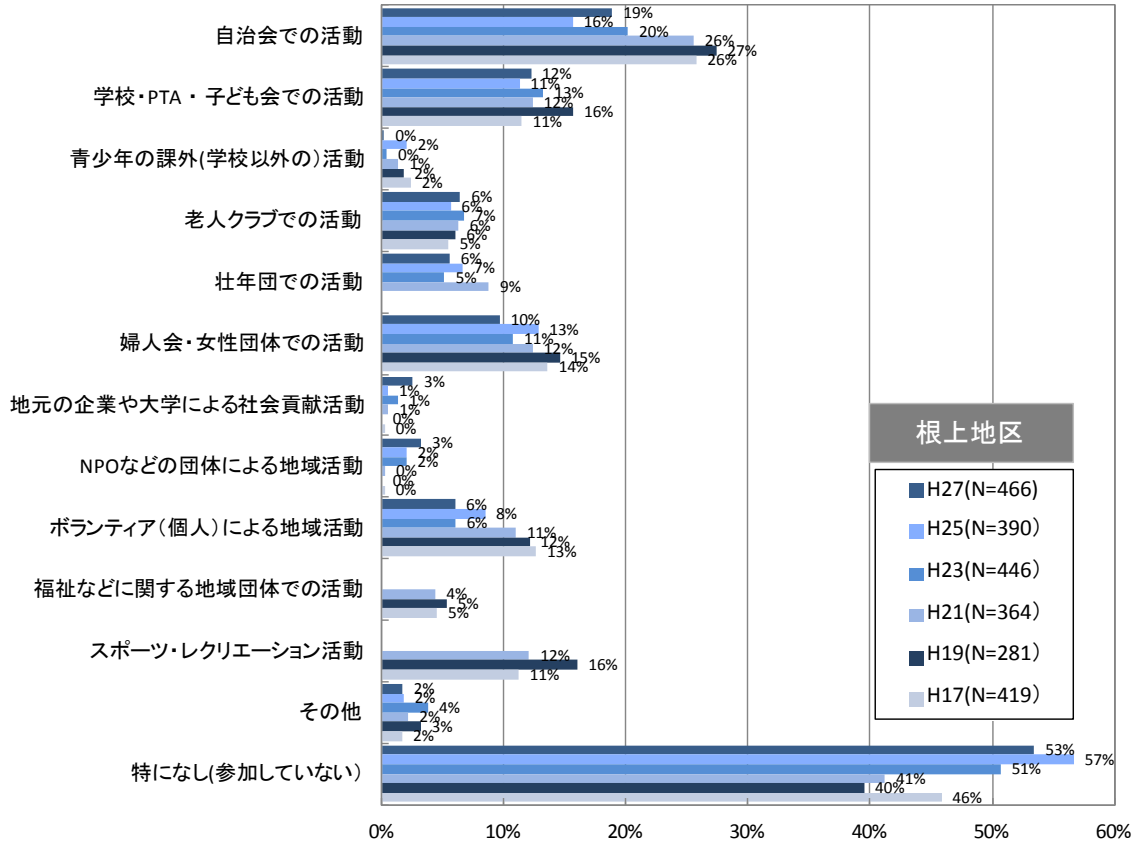
【今回（H27）】

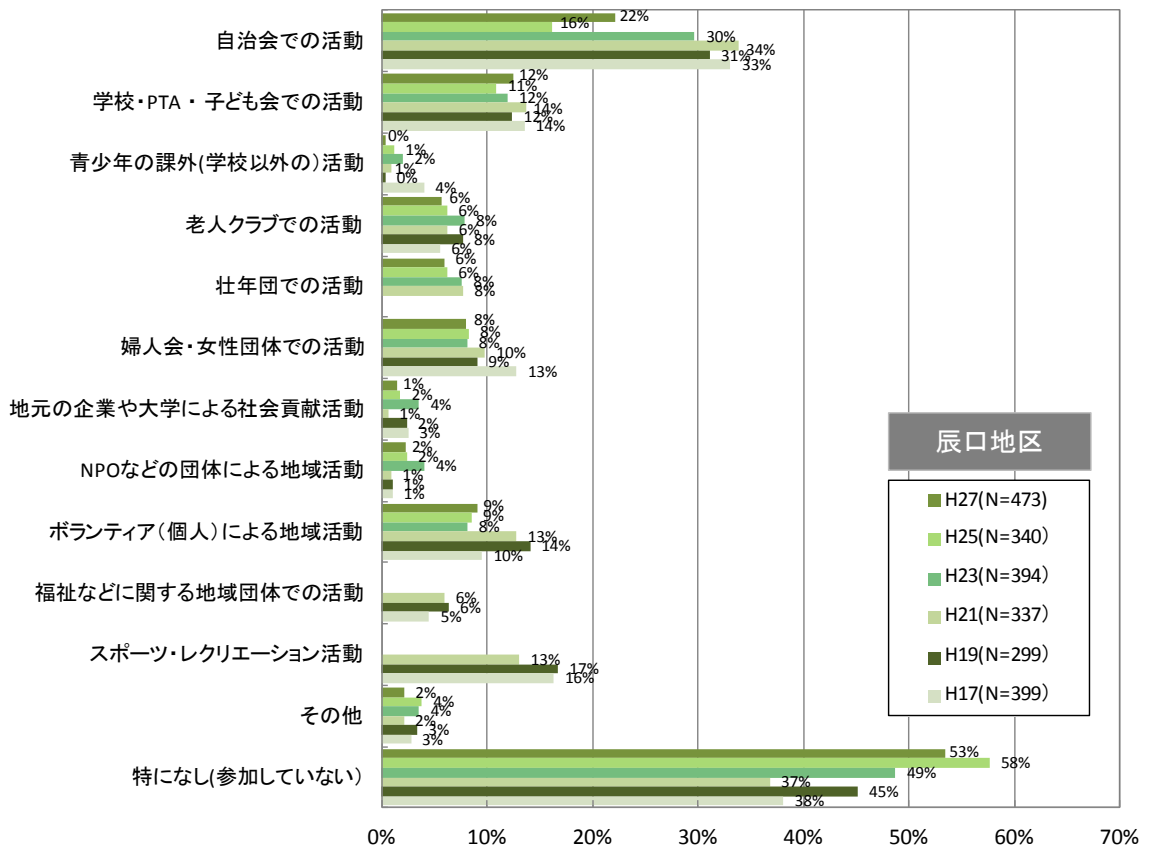
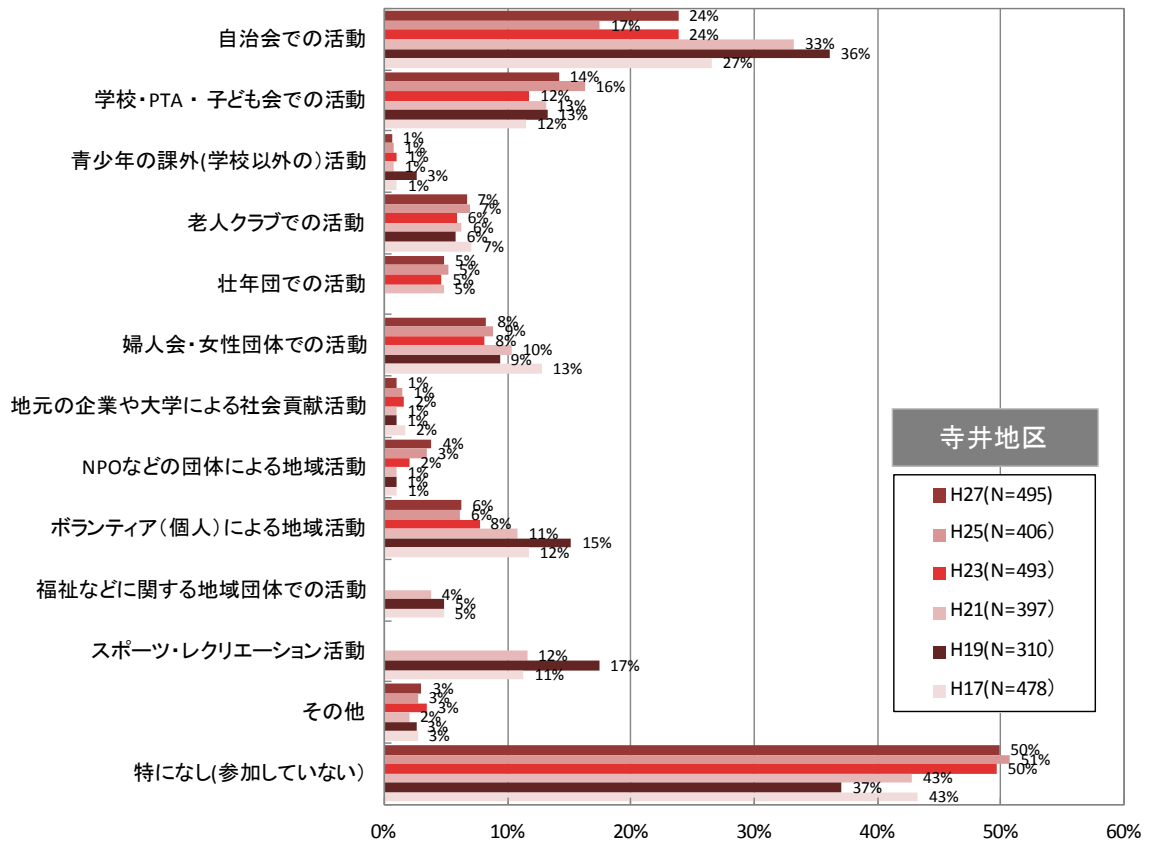
- ・ 3地区共に「特になし（参加していない）」が約5割と最も多くなっています。
- ・ 地区による大きな違いはみられません。



【経年変化】

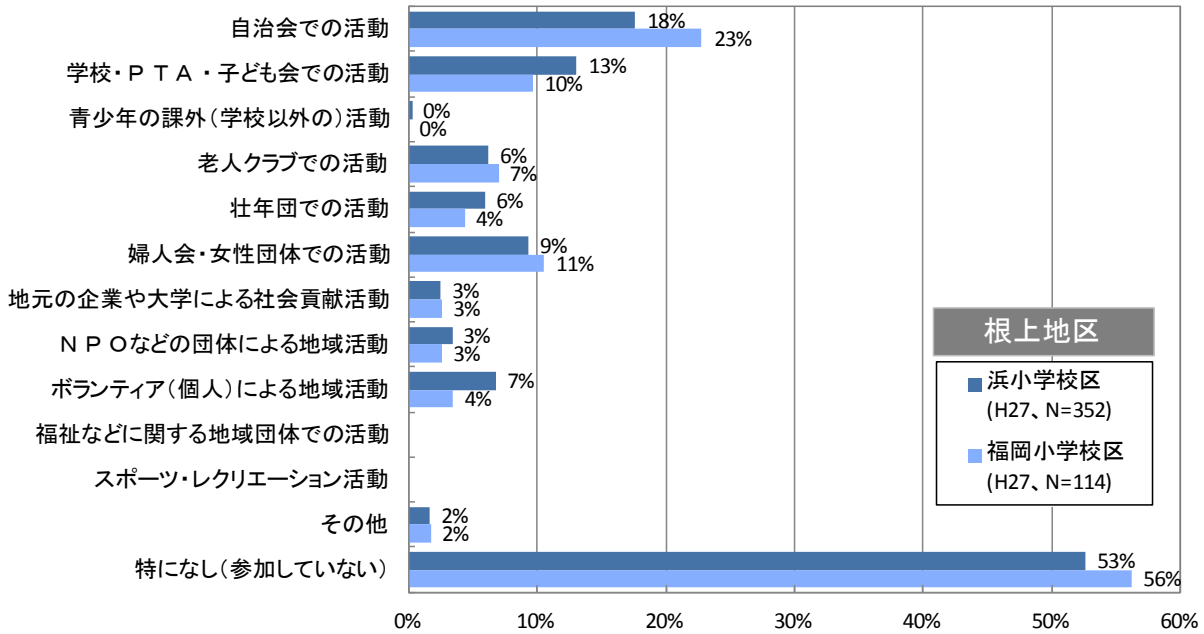
- ・根上では 53%、寺井では 50%、辰口では 53%が地域活動等に参加しておらず、全ての地区で地域活動への積極的な参加度合いが低くなっています。

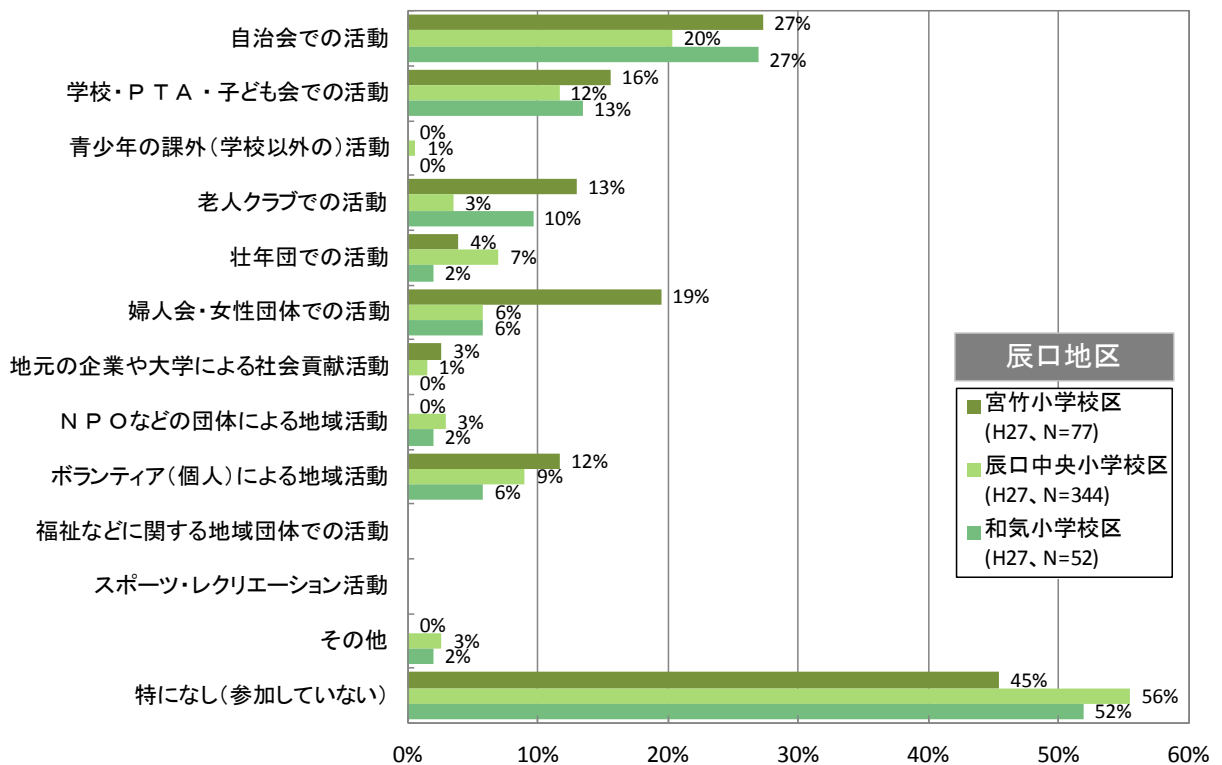
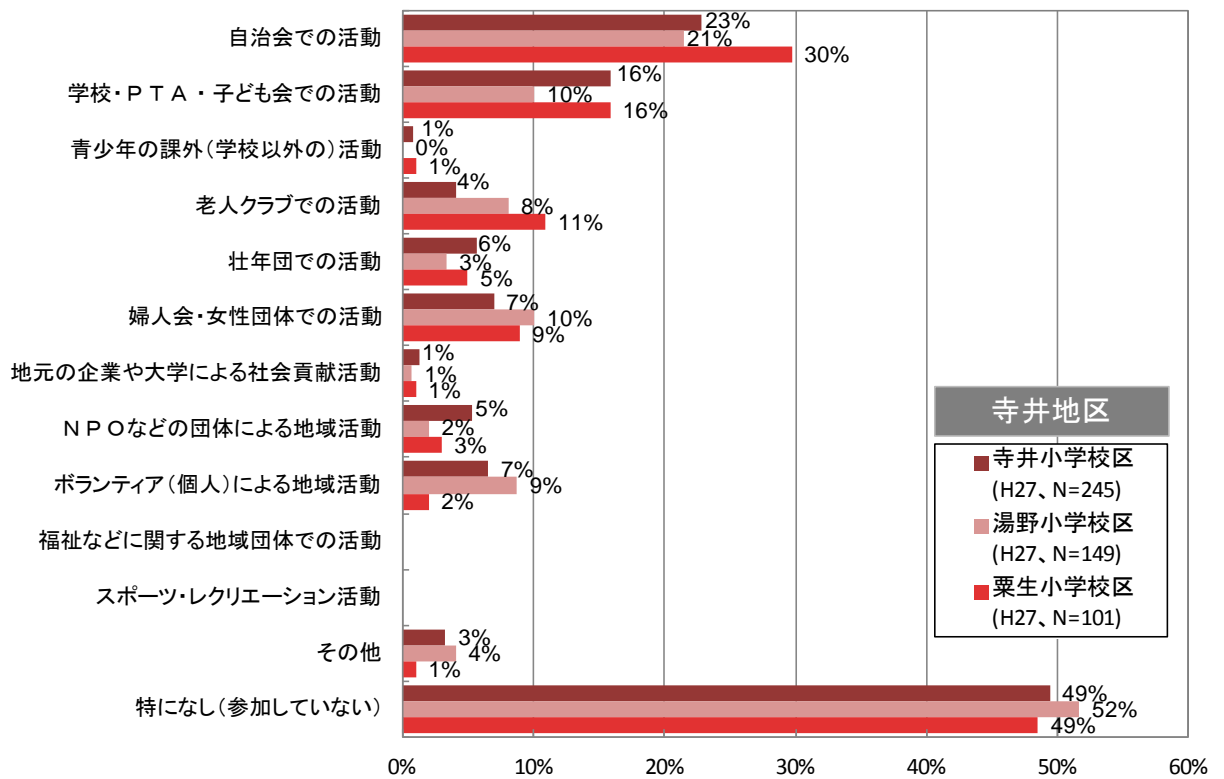




【小学校区別】

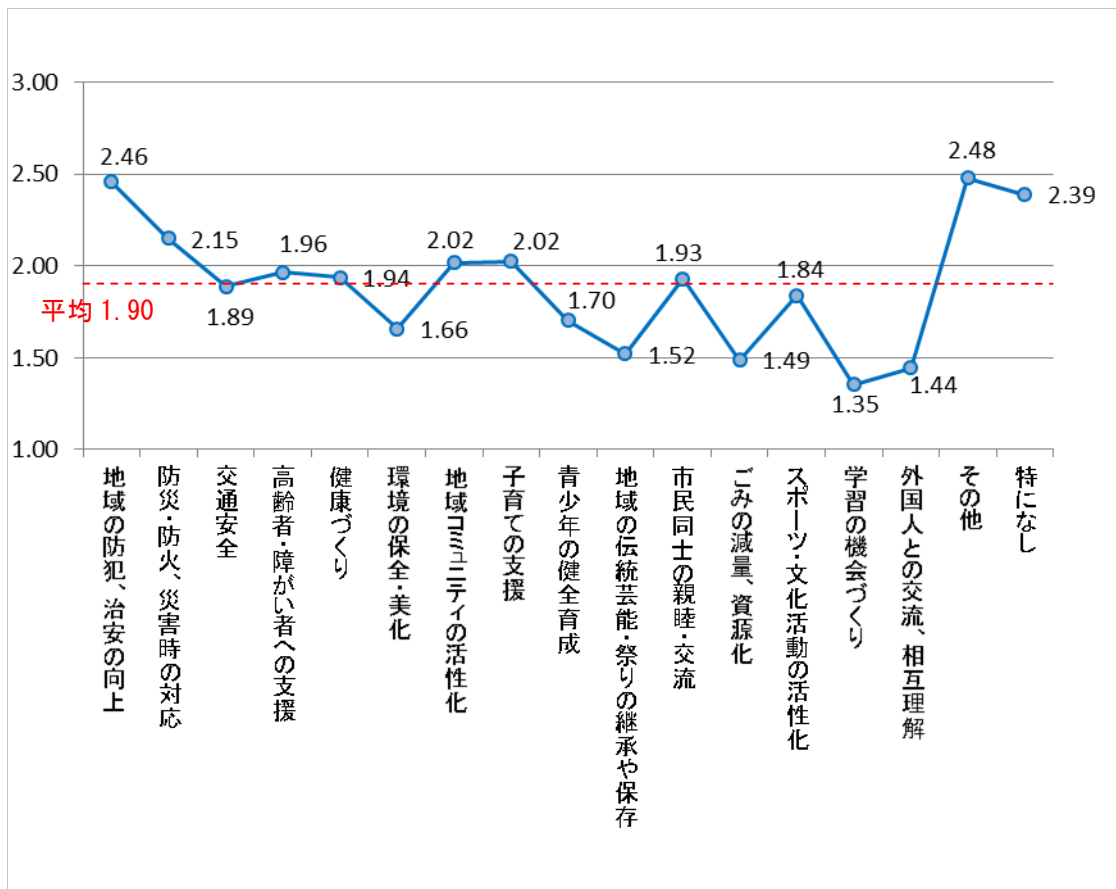
- ・全ての小学校区で「特になし（参加していない）」が最も多くなっています。特に、福岡小学校区、辰口中央小学校区は約 6 割と他の小学校区と比べて高くなっています。
- ・寺井の小学校区では、粟生小学校区の「自治会での活動」が他に比べて 7 ポイント以上高くなっています。
- ・辰口の小学校区では、宮竹小学校区の「婦人会・女性団体での活動」が他に比べて 13 ポイント以上高くなっています。





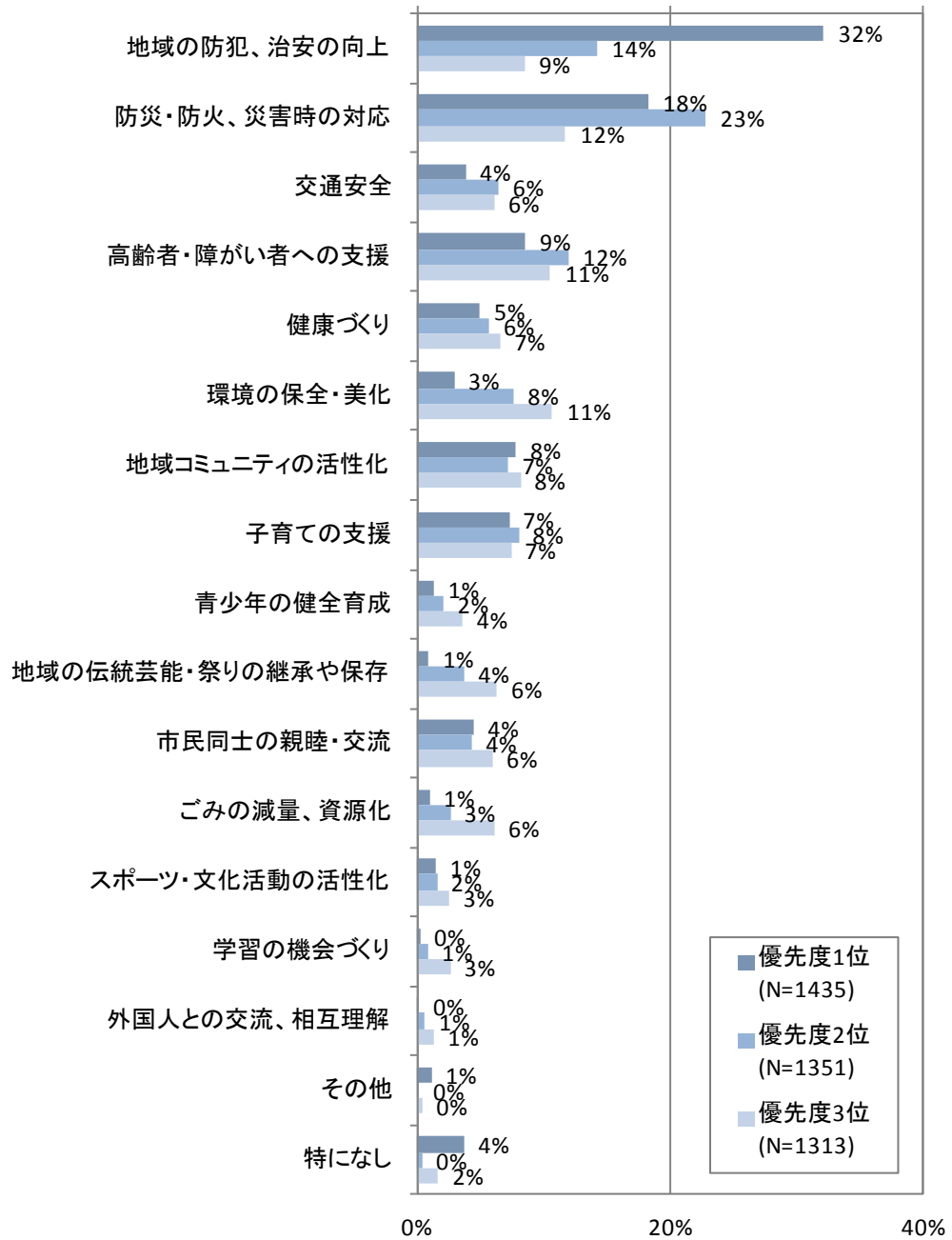
問 23 お住まいの地域（自治会等）で、地域が主体となって取り組むべき課題は、どんなことでしょうか？（優先度 3 位まで選択）

- ◆ 優先度 1 位を 3 点、優先度 2 位を 2 点、優先度 3 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「その他」及び「特になし」を除くと、「地域の防犯、治安の向上」が 2.46 で最も高く、次いで「防災・防火、災害時の対応」が 2.15、「地域コミュニティの活性化」及び「子育ての支援」が共に 2.02 となっています。
- ◆ 「特になし」が 2.39 と高く、地域課題を実感していない回答者も多く存在する。一方、「その他」の点数が高くなっており、回答者数は 20 名と少ないものの、「アパートの乱立」、「除雪」、「企業誘致、仕事雇用創出」、「高齢者の多い地域での自治活動」など、地域ごとに異なる課題が挙げられています。



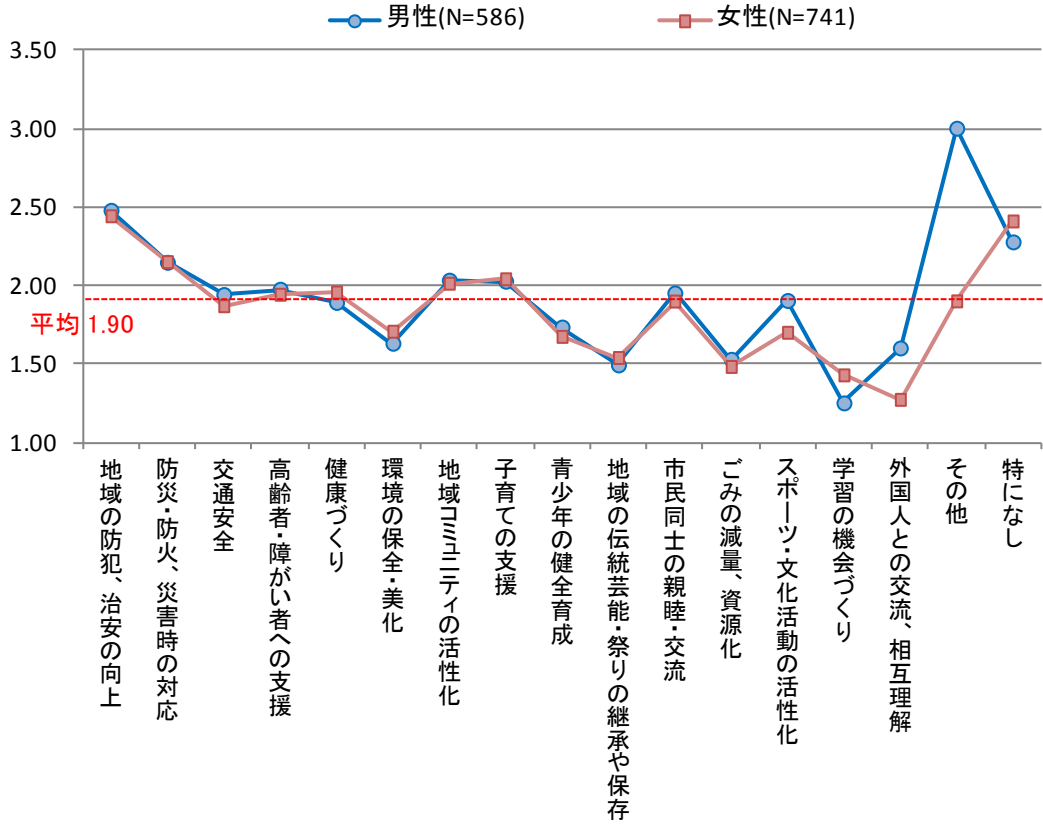
【評価点の算出式】
 {優先度 1 位 × (3 点) + 優先度 2 位 × (2 点) + 優先度 3 位 × (1 点)} ÷ 回答者数

<地域が主体となって取り組むべき課題（優先度 3 位まで選択）>



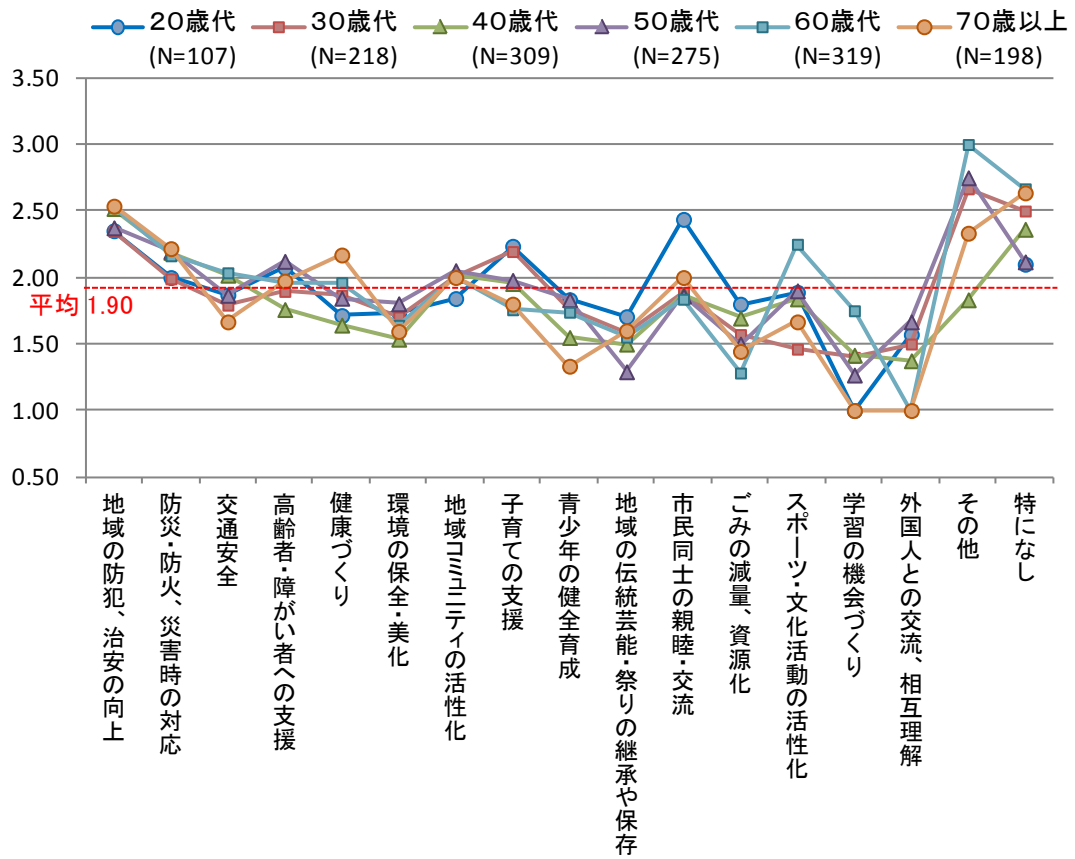
■地域が主体となって取り組むべき課題（性別）

・性別による大きな違いはみられません。



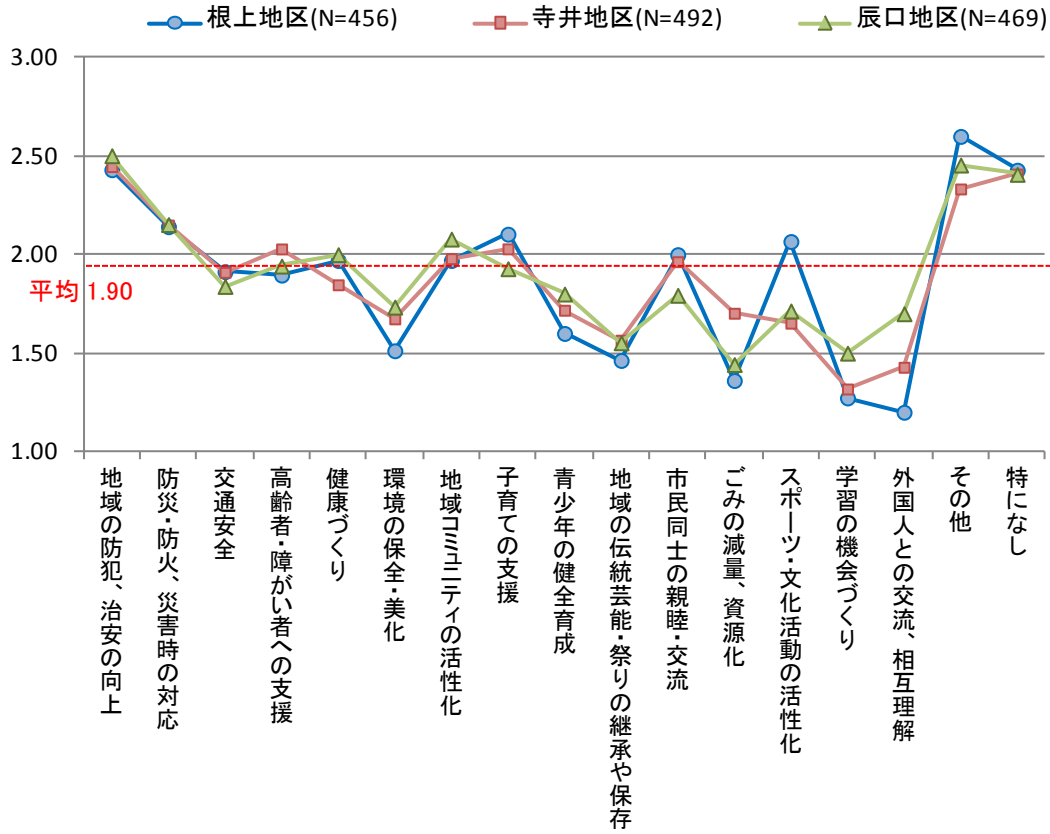
■ 地域が主体となって取り組むべき課題（年代別）

・ 20 歳代で「市民同士の親睦・交流」が、他と比べて高くなっています。



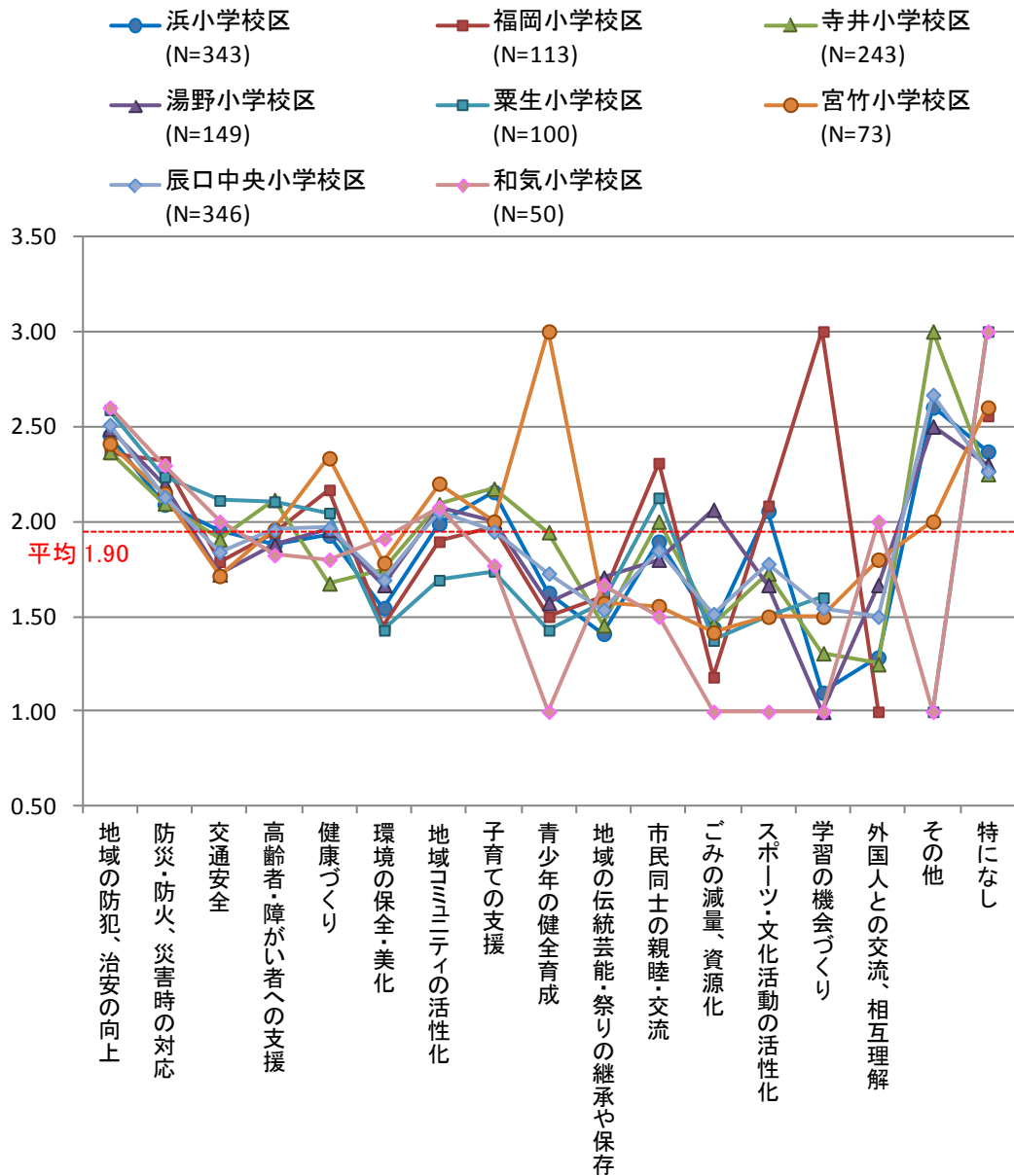
■地域が主体となって取り組むべき課題（地区別）

・全ての地区で「地域の防犯、治安の向上」が最も高くなっています。



【小学校区別】

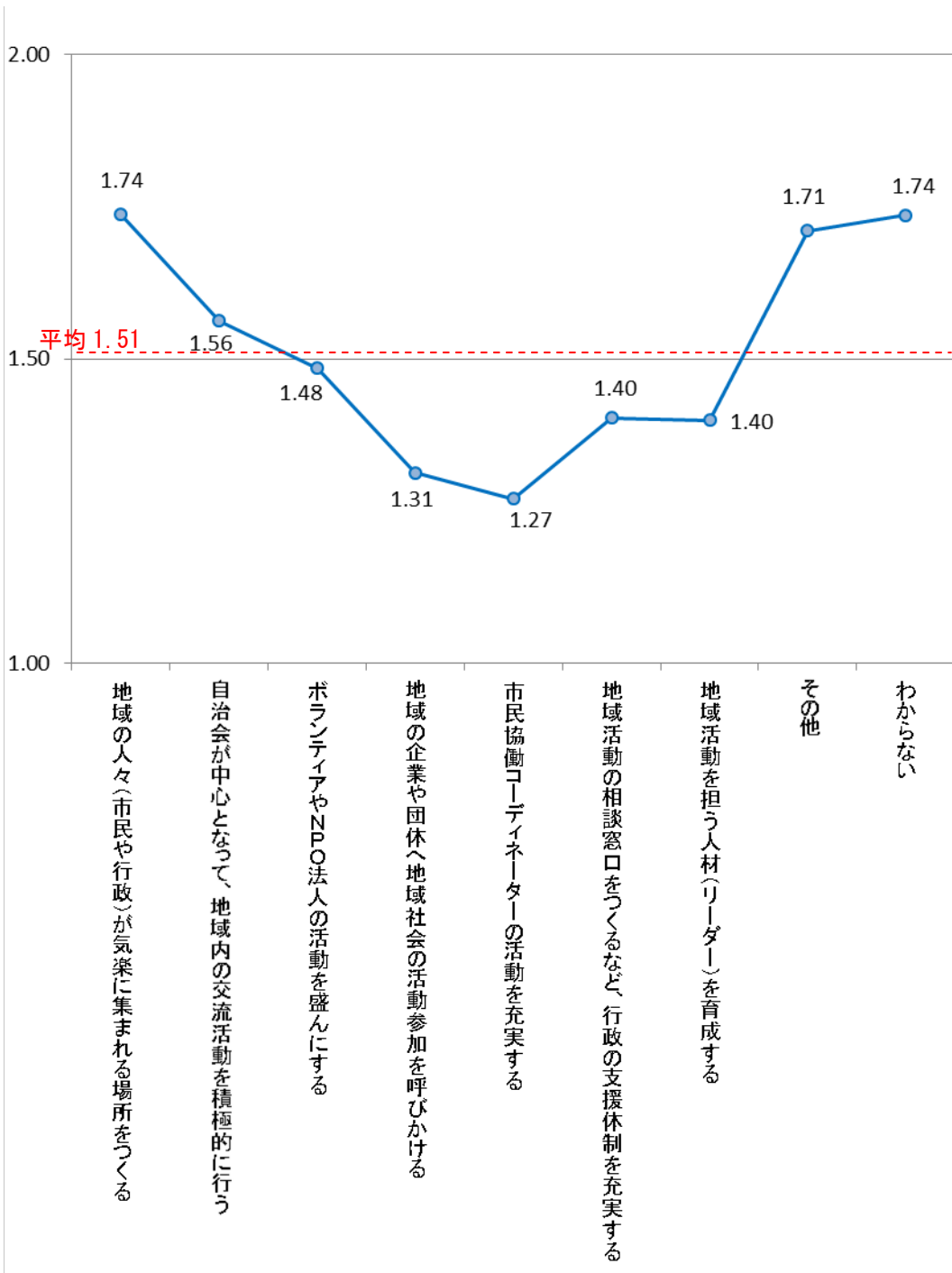
- ・ 福岡小学校区で「学習の機会づくり」、宮竹小学校区で「青少年の健全育成」が他と比べて特に高くなっています。



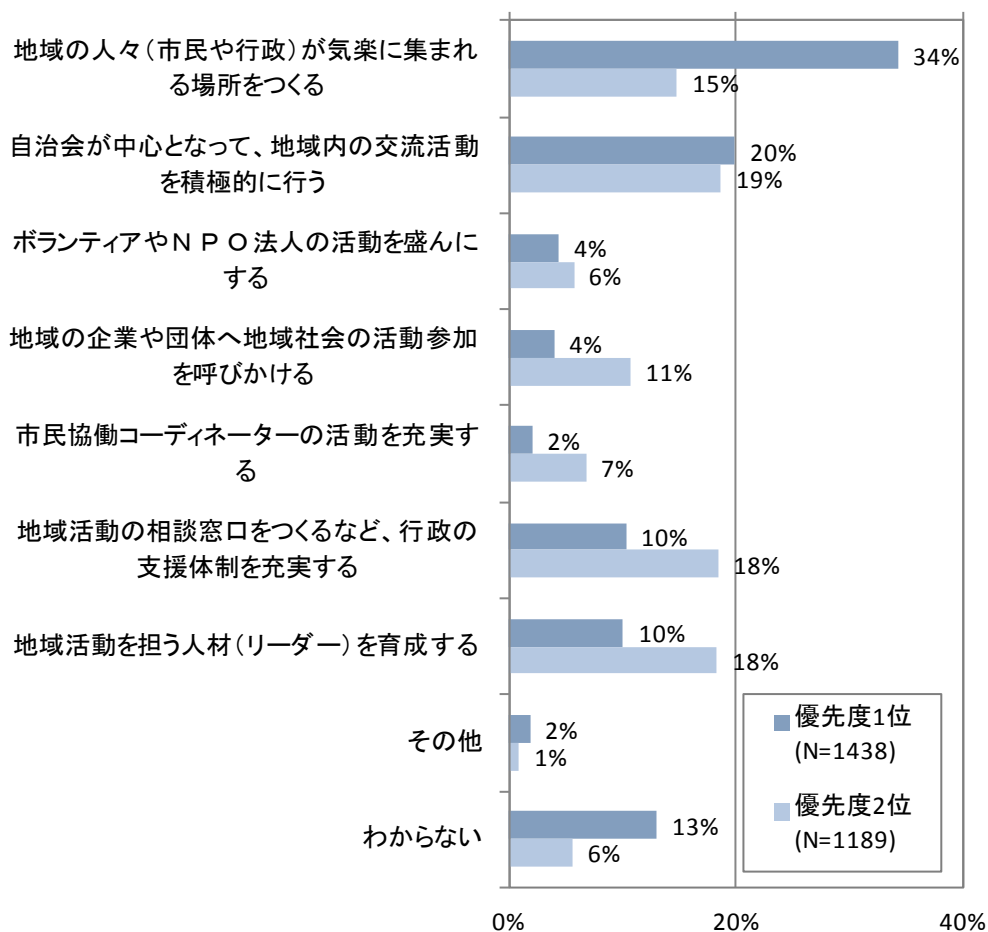
問 24

地域社会の問題解決に向けて、市民同士、あるいは市民と行政の協力（協働）関係をより深めるために、どんなことが重要だと思いますか？
 （優先度 2 位まで選択）

◆優先度 1 位を 2 点、優先度 2 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「その他」及び「わからない」を除くと、「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が 1.74 で最も高く、次いで「自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う」が 1.56、「ボランティアや NPO 法人の活動を盛んにする」が 1.48 となっています。

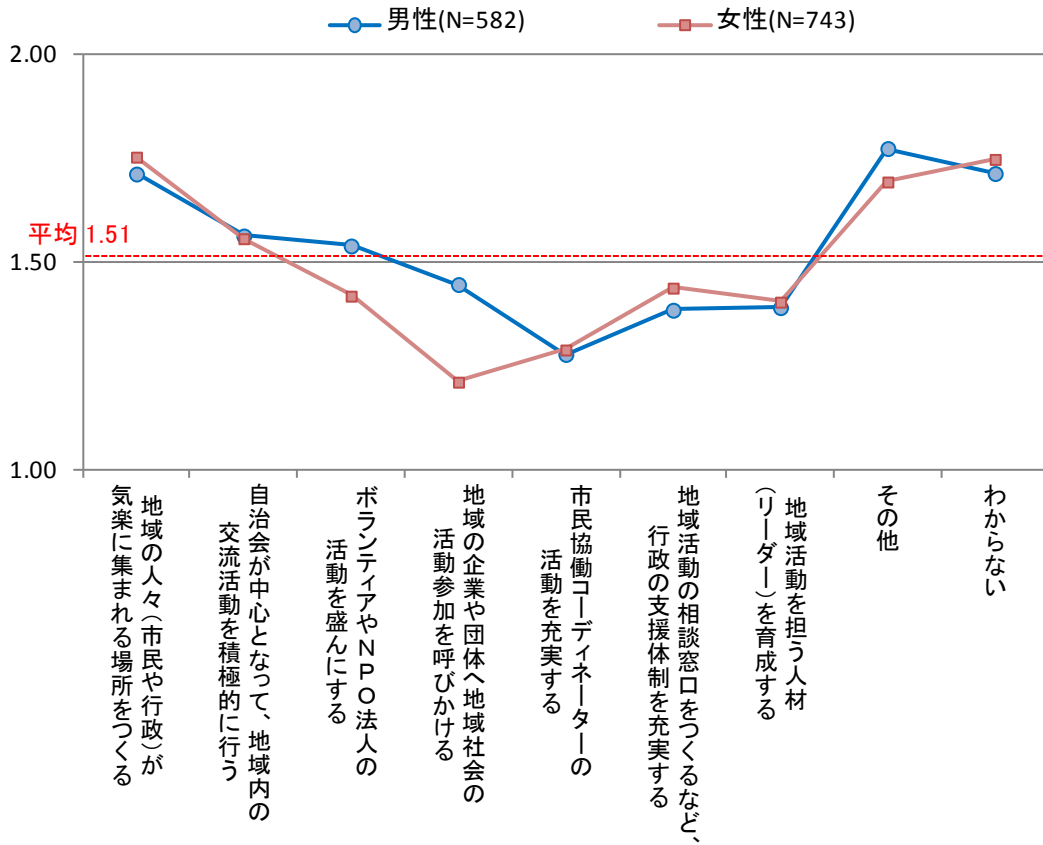


＜地域社会の問題解決に向けて、市民同士、あるいは市民と行政の協力（協働）関係をより深めるために重要なこと（優先度 2 位まで選択）＞



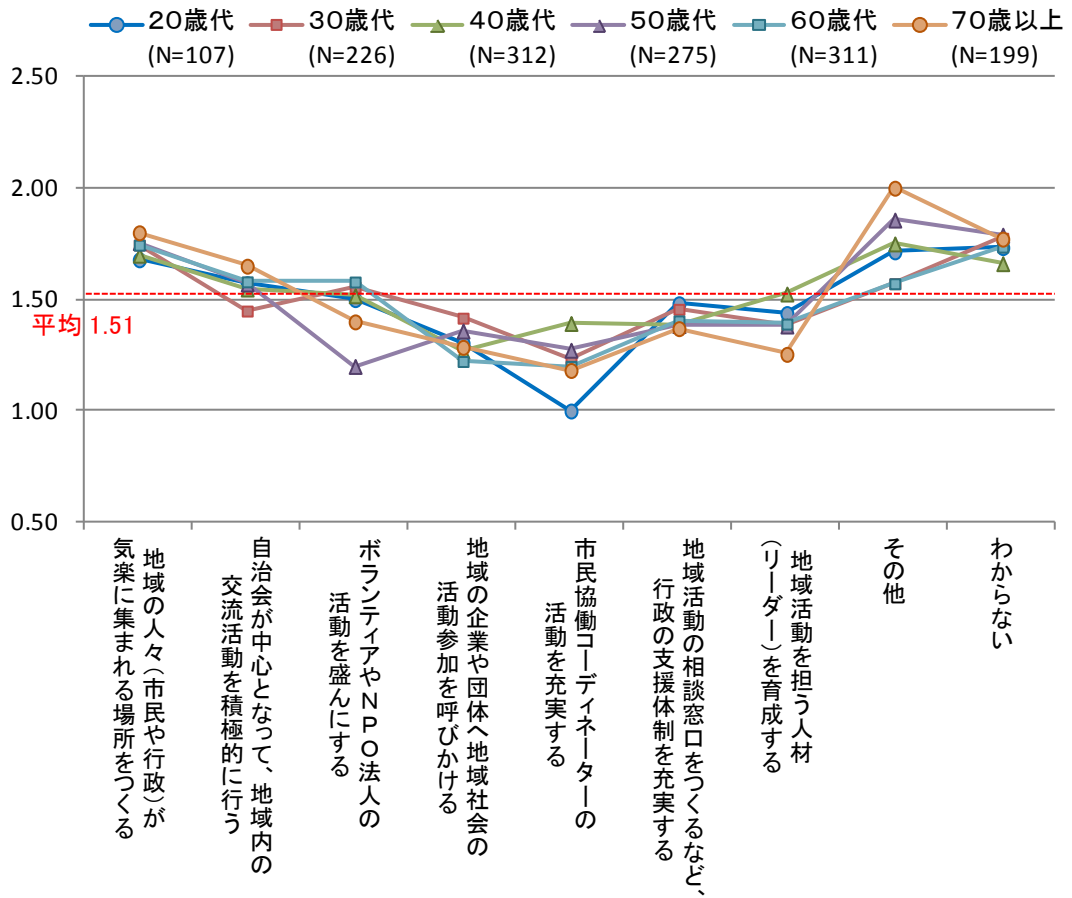
■市民と行政の協働推進に必要なこと（性別）

- ・男女共に「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が最も高くなっています。
- ・男性は「地域の企業や団体へ地域社会の活動参加を呼びかける」、女性は「市民協働コーディネーターの活動を充実する」が最も低くなっています。



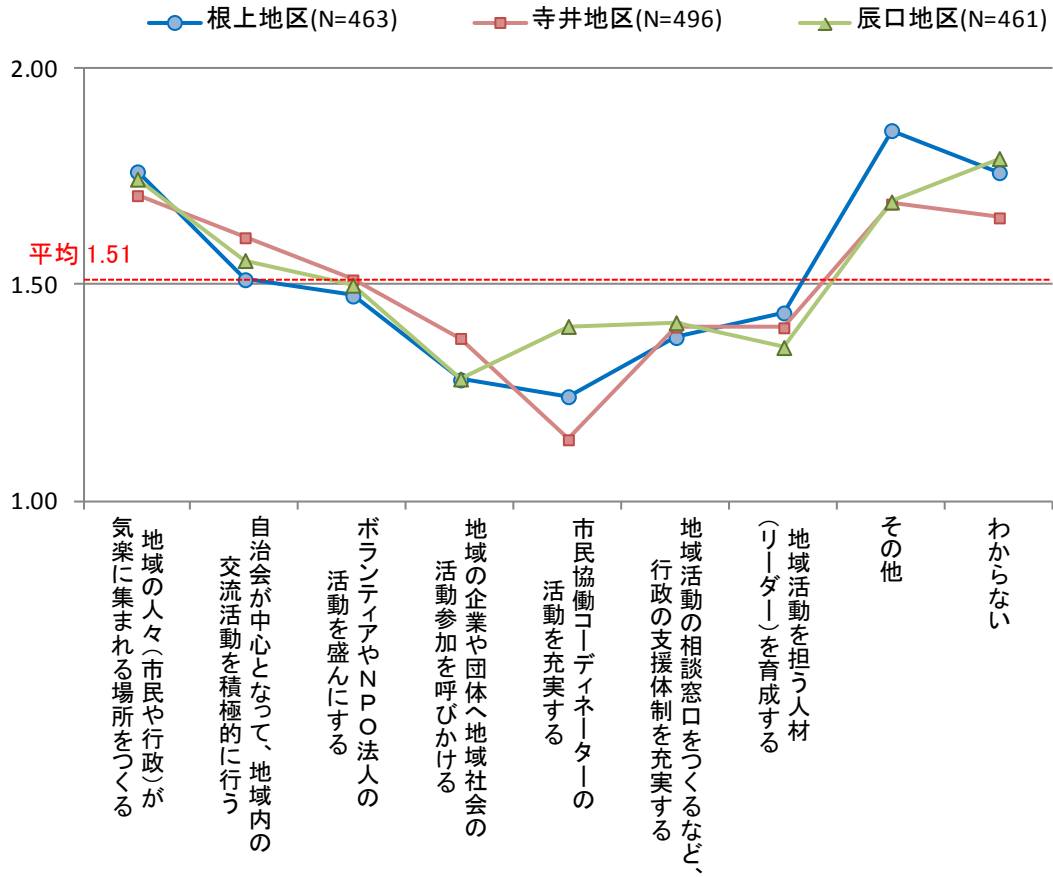
■ 市民と行政の協働推進に必要なこと（年代別）

・年代による大きな違いはみられません。



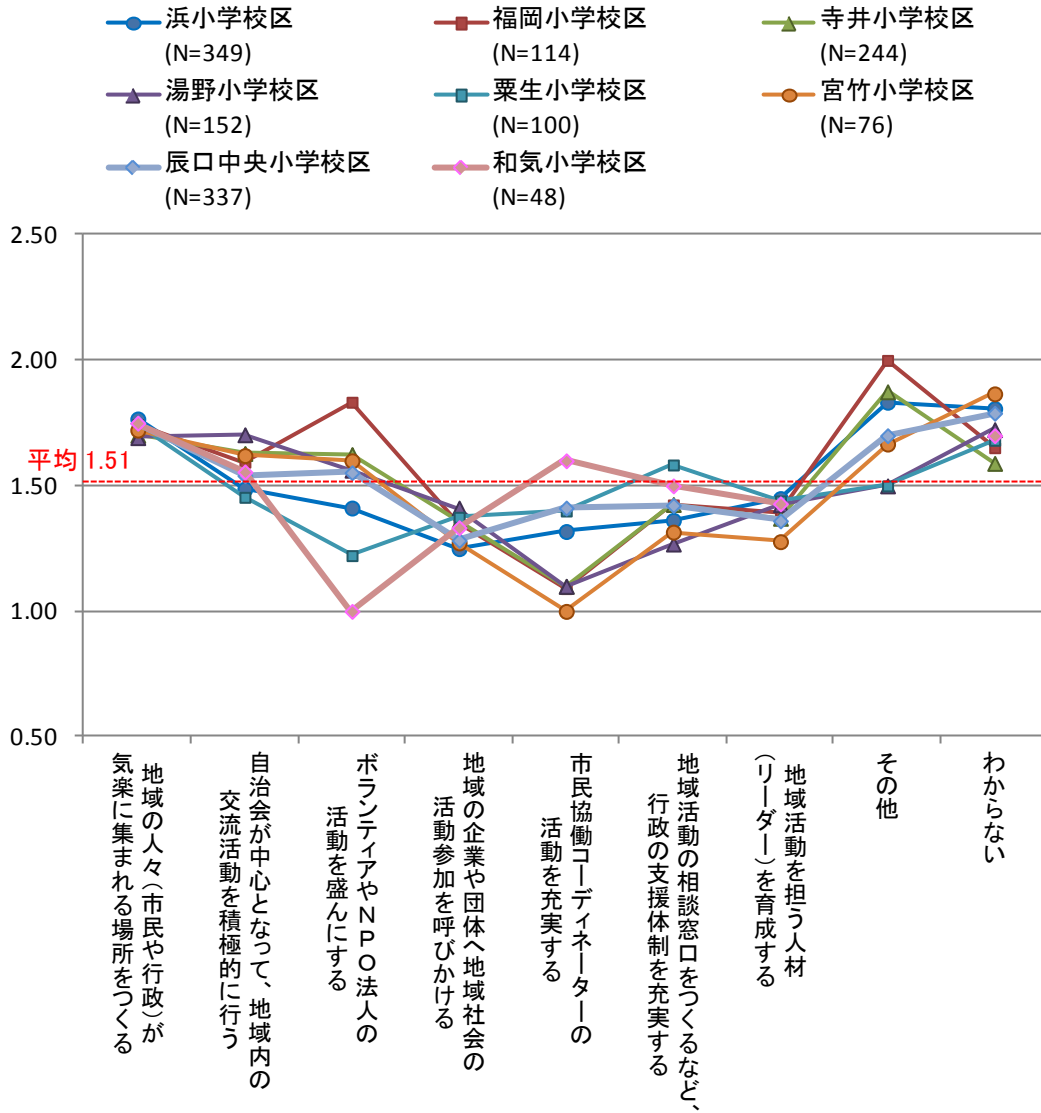
■市民と行政の協働推進に必要なこと（地区別）

・地区による大きな違いはみられません。



【小学校区別】

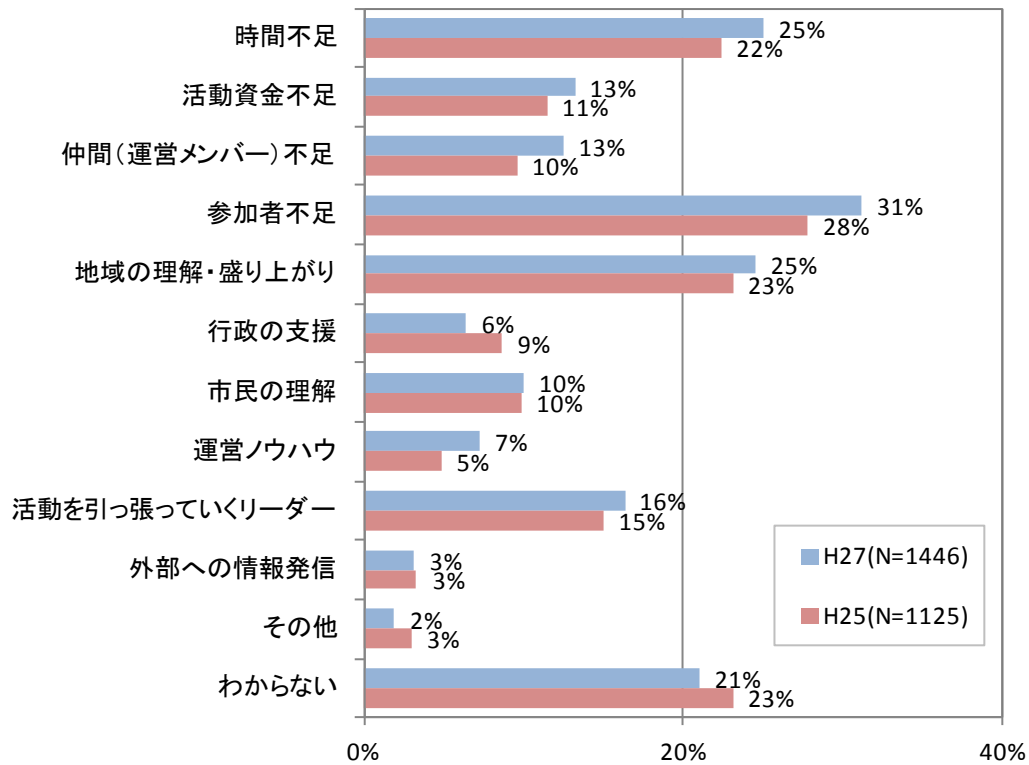
・「ボランティアやNPO法人の活動を盛んにする」で大きな差がみられます。



問 25 地域の問題解決に向けて、あなたの地域でまちづくり活動をするときに、活動の妨げになっていることは何ですか？（2つまで○）

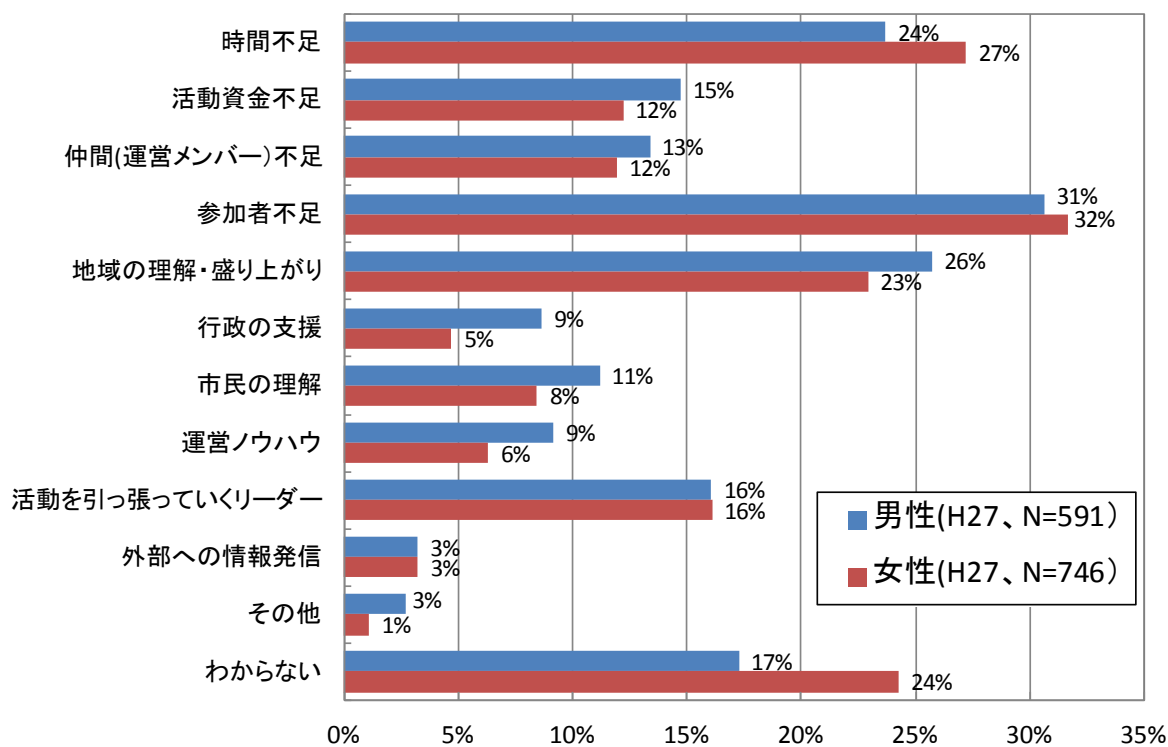
※H25 に追加した設問

◆「参加者不足」が31%と最も多く、次いで「時間不足」が25%、「地域の理解・盛り上がり」が25%となっています。



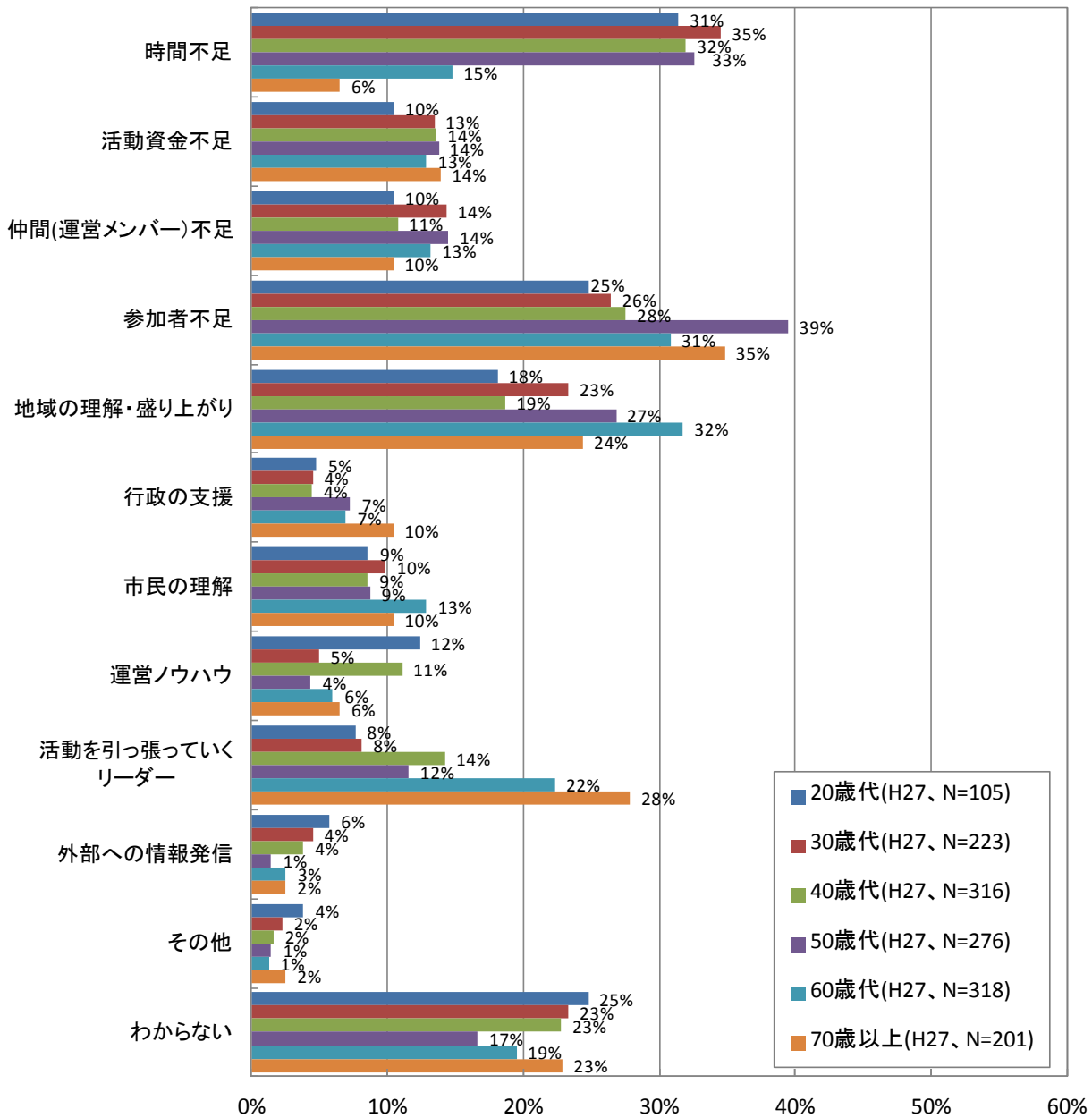
■まちづくり活動の妨げになっていること（性別）

- ・男女共に「参加者不足」が最も多くなっています。
- ・男性は「行政の支援」が9%と、女性より4ポイント高くなっています。
- ・女性は「わからない」が24%と、男性より7ポイント高くなっています。



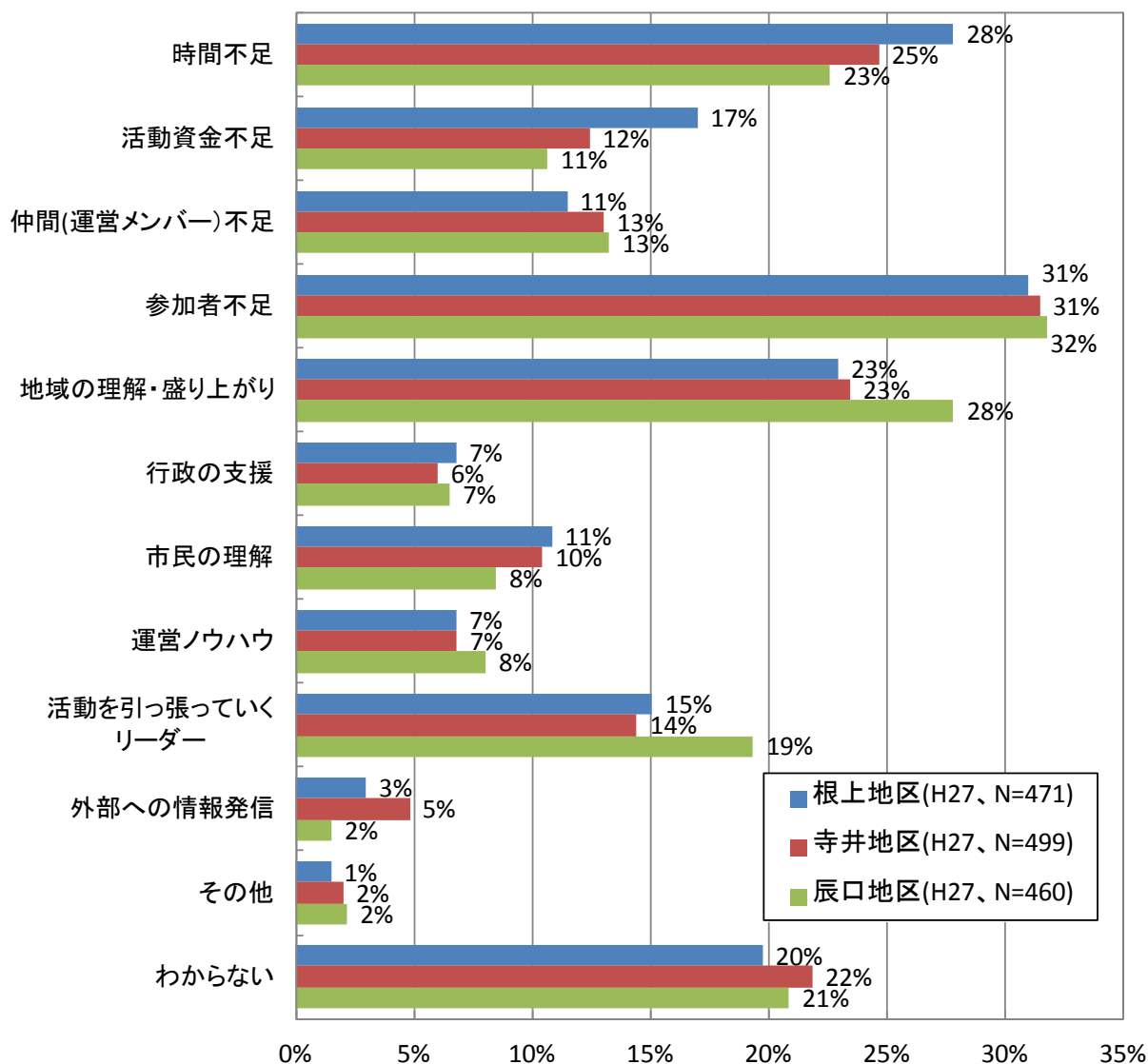
■まちづくり活動の妨げになっていること（年代別）

- ・70 歳以上は「活動を引っ張っていくリーダー」が他の年代と比べて 6 ポイント以上高くなっています。
- ・60 歳代では「地域の理解・盛り上がり」が他の年代と比べて 5 ポイント以上高くなっています。



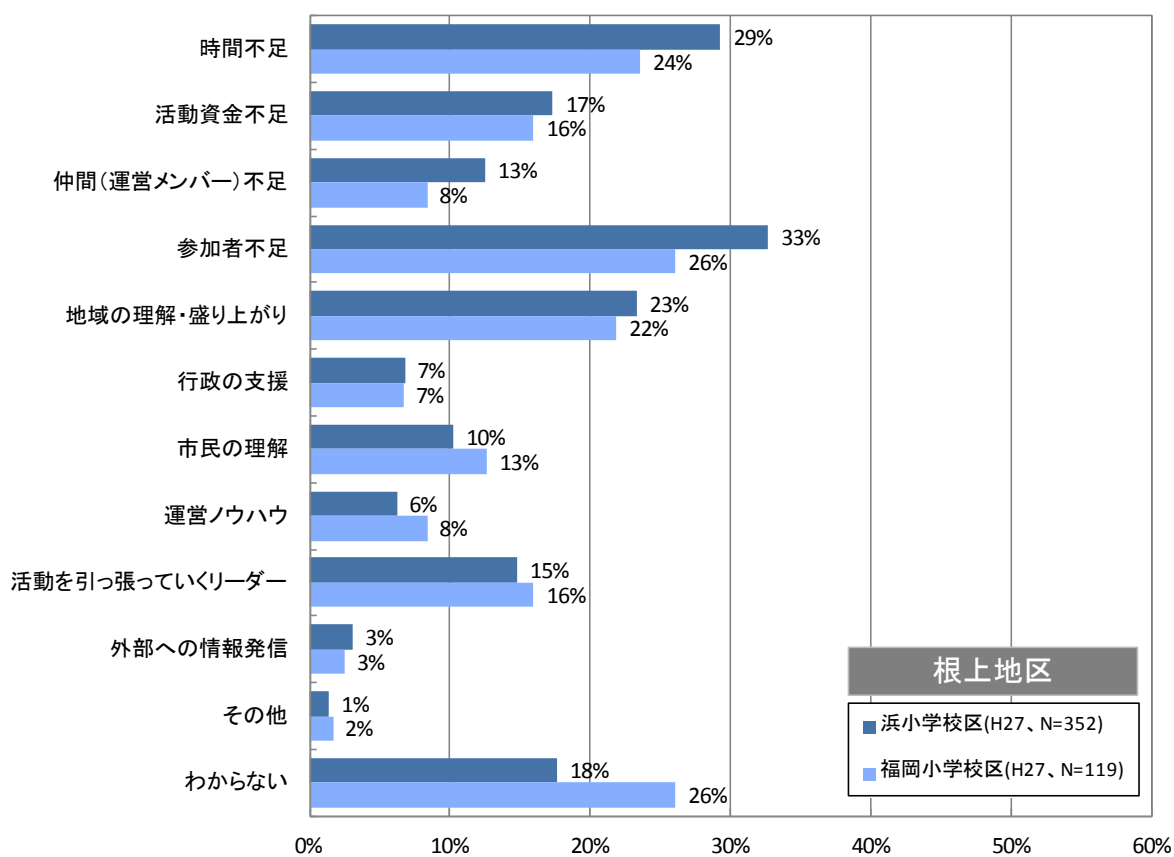
■まちづくり活動の妨げになっていること（地区別）

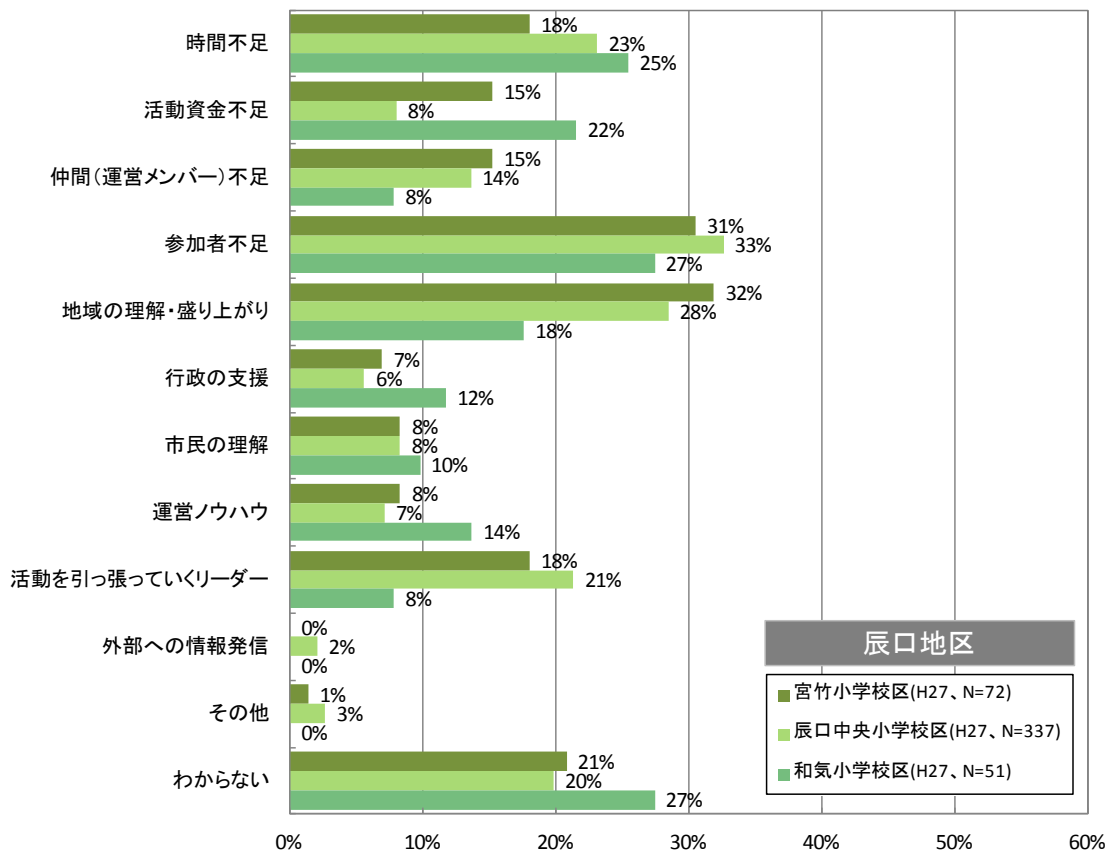
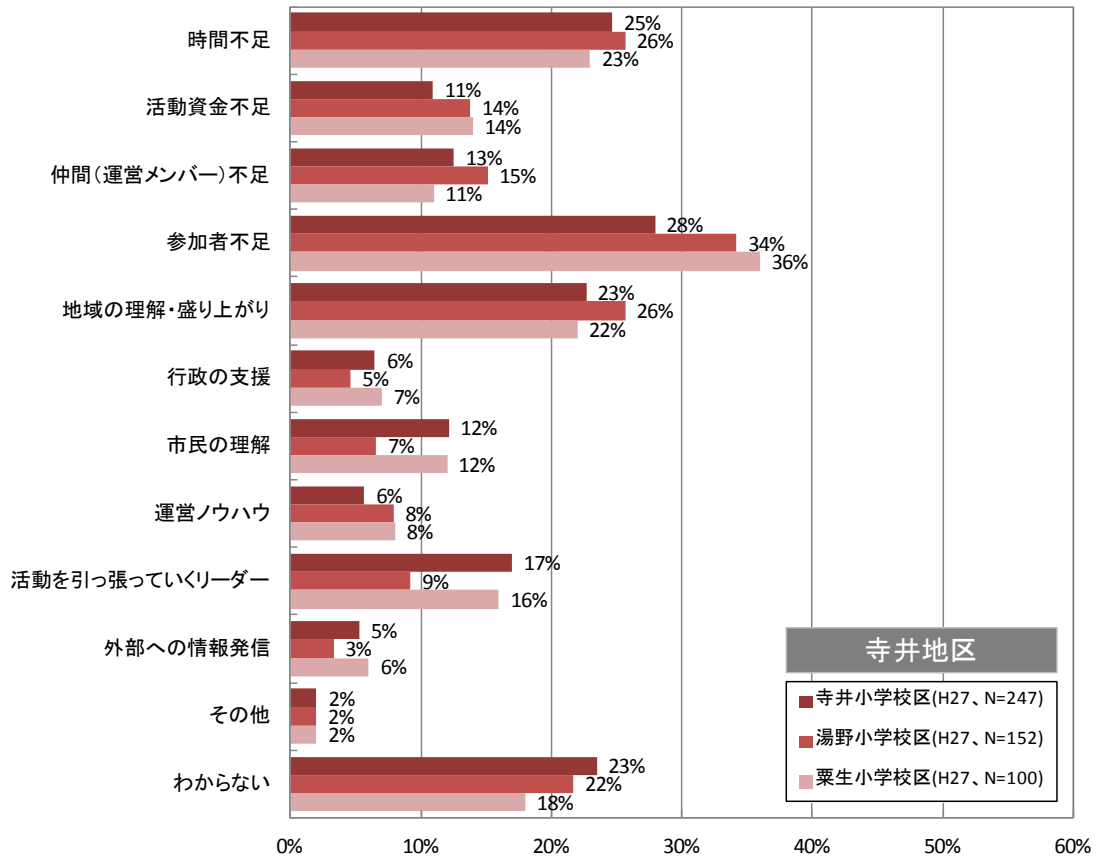
- ・根上では「時間不足」「活動資金不足」が他の地区と比べて高くなっています。
- ・寺井では「外部への情報発信」が他の地区と比べて高くなっています。
- ・辰口では「地域の理解・盛り上がり」「活動を引っ張っていくリーダー」が他の地区と比べて高くなっています。



【小学校区別】

・小学校区ごとに課題は異なるものの、「参加者不足」「時間不足」「地域の理解・盛り上がり」「活動を引っ張っていくリーダー」が主な課題となっていることがうかがえます。



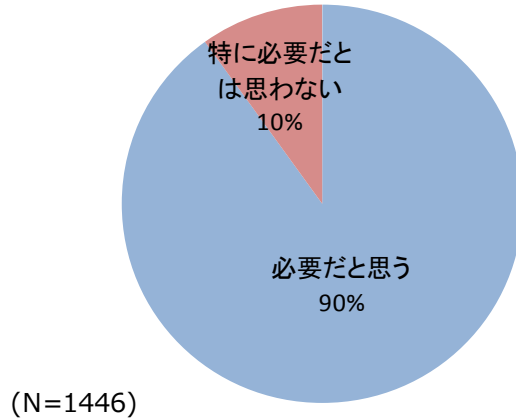


問 26

今後、能美市は 65 歳以上の高齢者が増えていき、25 年後には現在の 1.5 倍になる推計結果が出ています。高齢者が安心して暮らしていくには、地域での支援も重要になっていきますが、地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりが必要だと思いませんか。(1つに○)

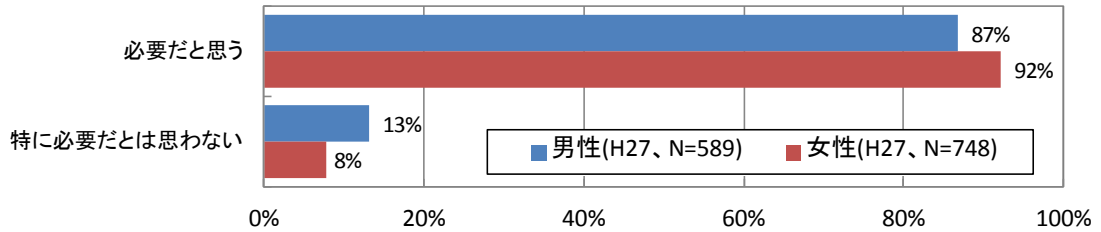
※H27 に追加した設問

◆ 「必要だと思う」が 90%を占めています。



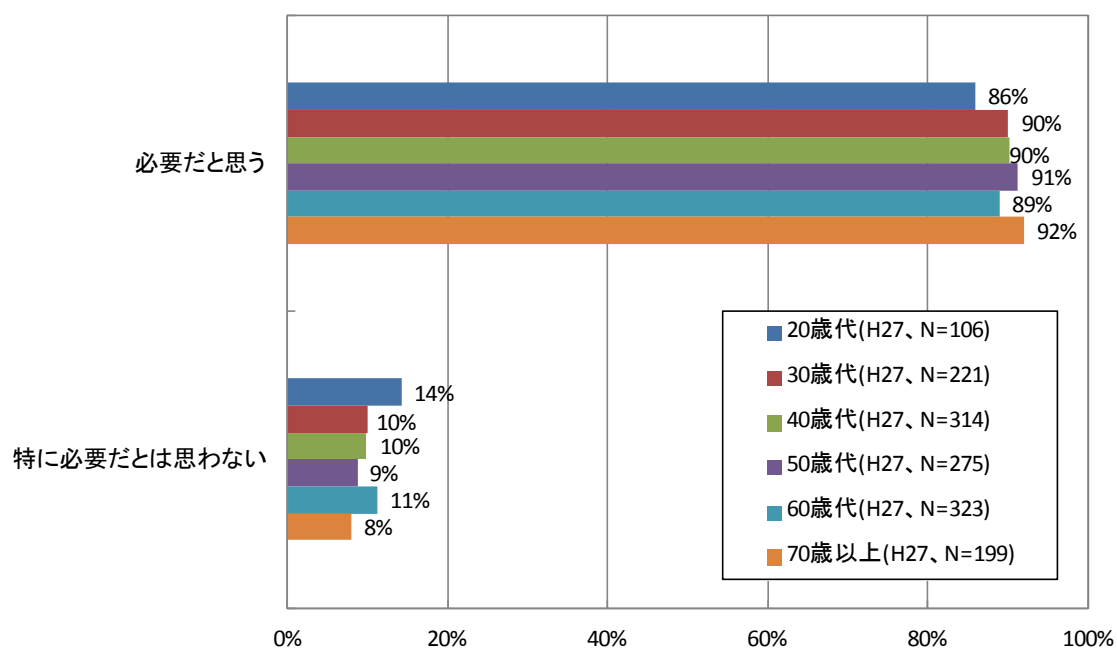
■ 地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりの必要性(性別)

・男女共に「必要だと思う」が約9割となっています。



■ 地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりの必要性(年代別)

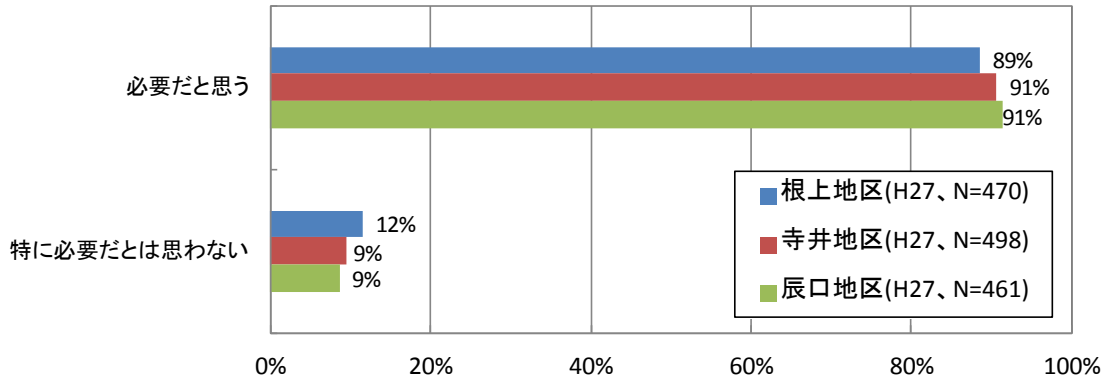
・ 全ての年代で「必要だと思う」が約9割となっています。



■地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりの必要性(地区別)

【地区別】

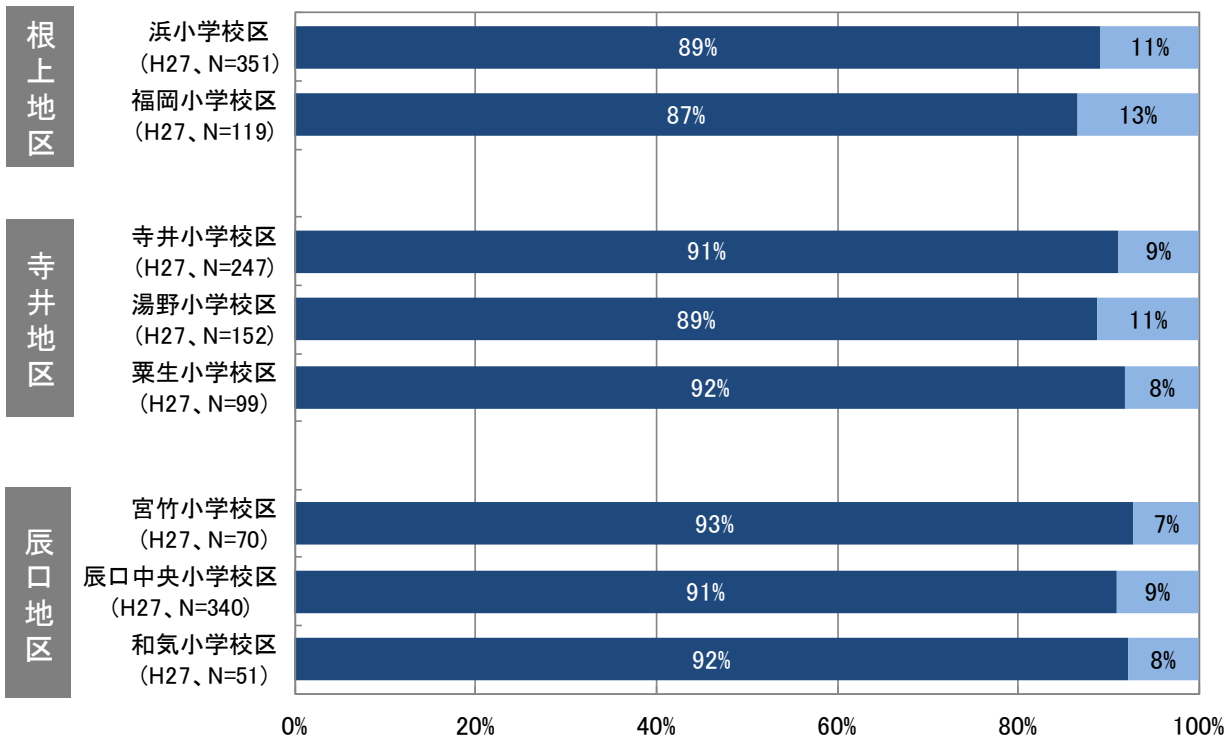
・全ての地区で「必要だと思う」が約9割となっています。



【小学校区別】

・全ての小学校区で「必要だと思う」が約9割となっています。

■必要だと思う ■特に必要だとは思わない

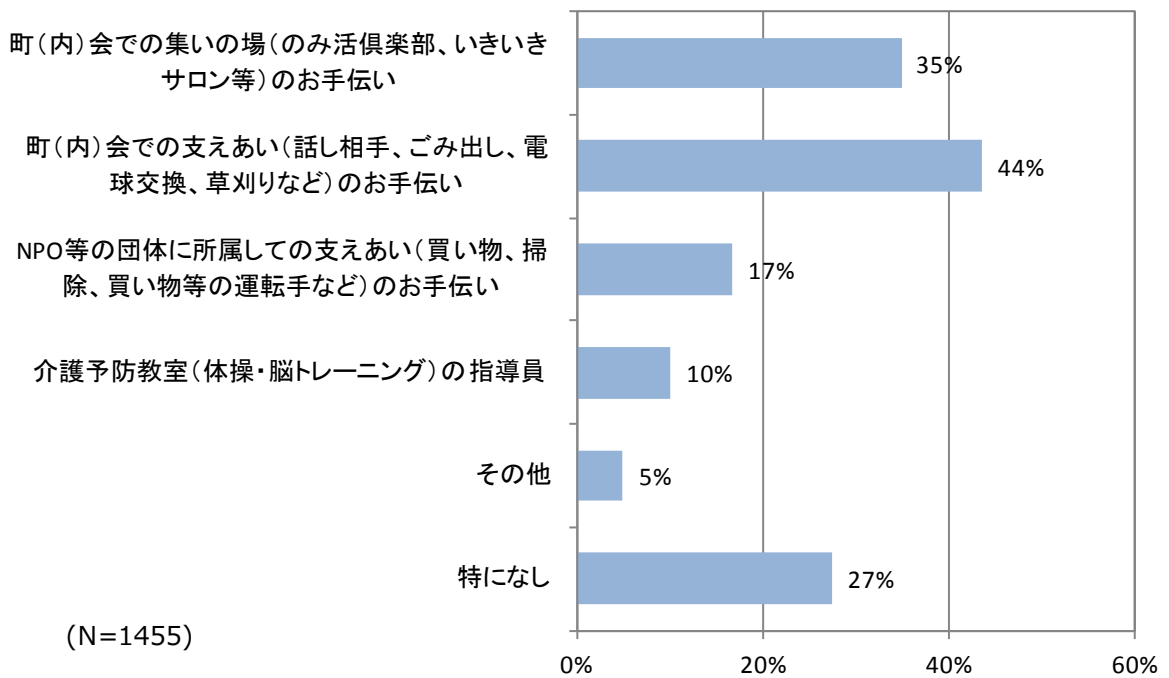


問 27

あなたが高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動はありますか。(当てはまるもの全てに○)

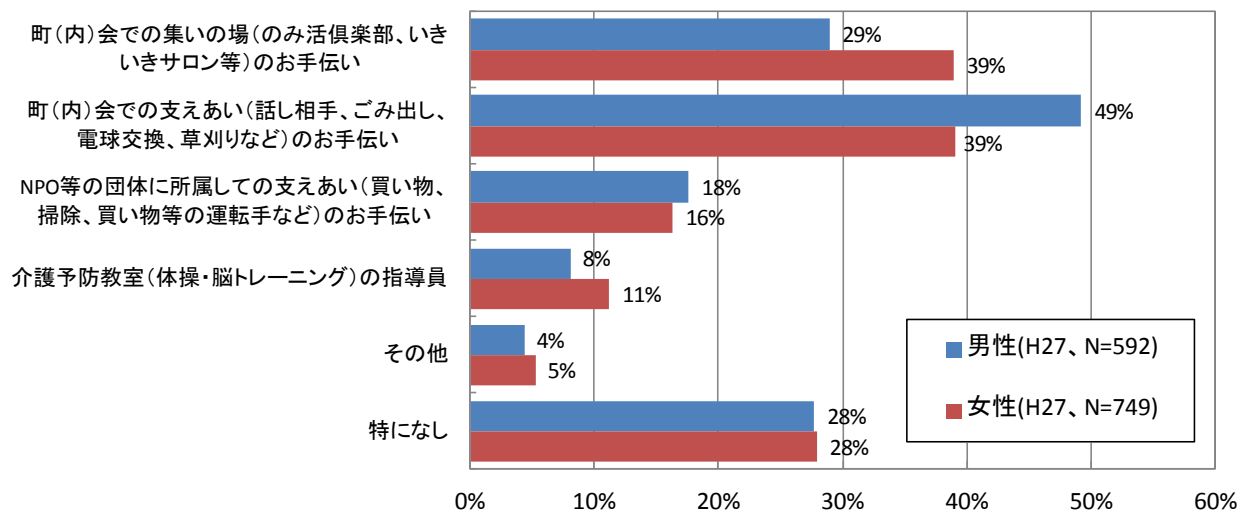
※H27 に追加した設問

- ◆「町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い」が 44%で最も多く、次いで「町（内）会での集いの場（のみ活倶楽部、いきいきサロン等）のお手伝い」が 35%、「特になし」が 27%となっています。



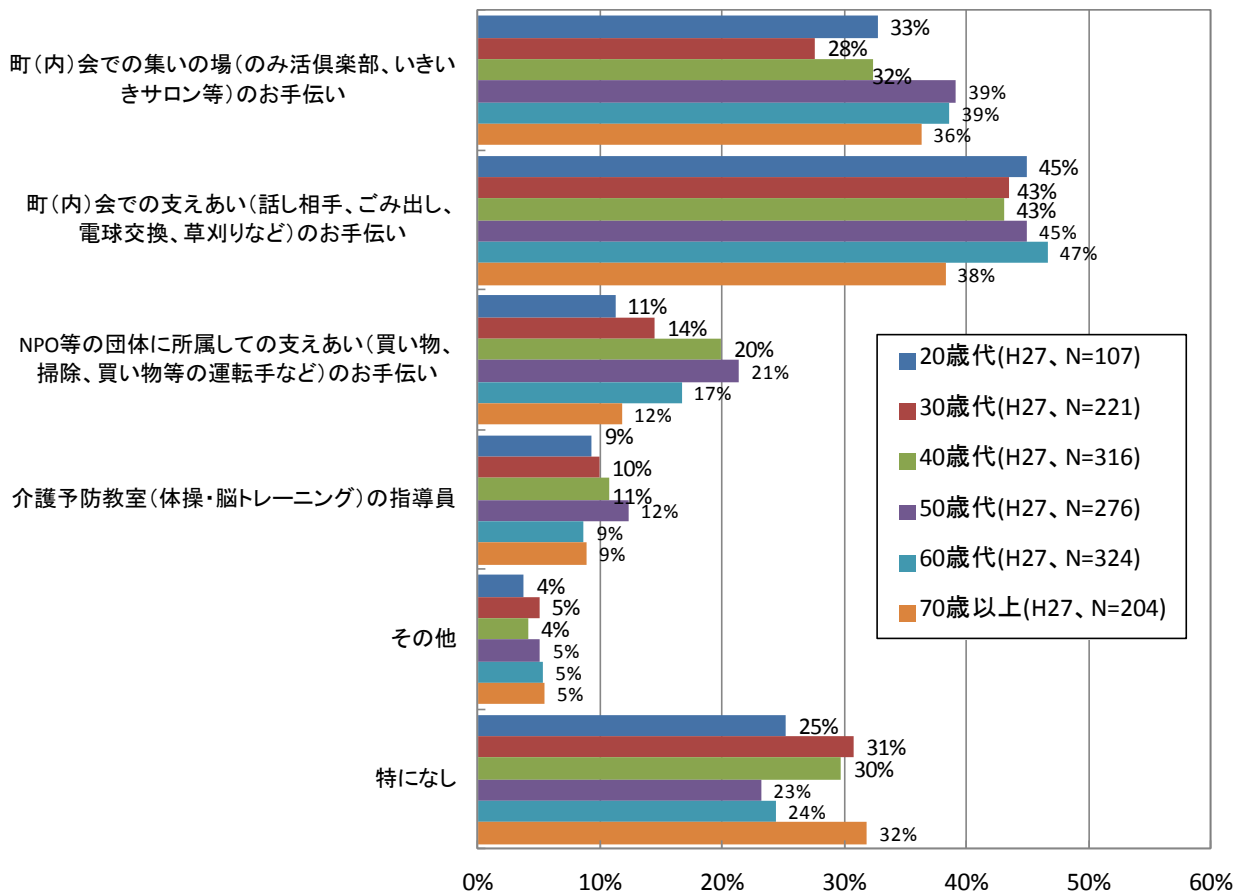
■高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動(性別)

- ・男性は「町(内)会での支えあい(話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど)のお手伝い」が女性より 10 ポイント高く、女性は「町(内)会での集いの場(のみ活倶楽部、いきいきサロン等)のお手伝い」が男性より、10 ポイント高くなっています。



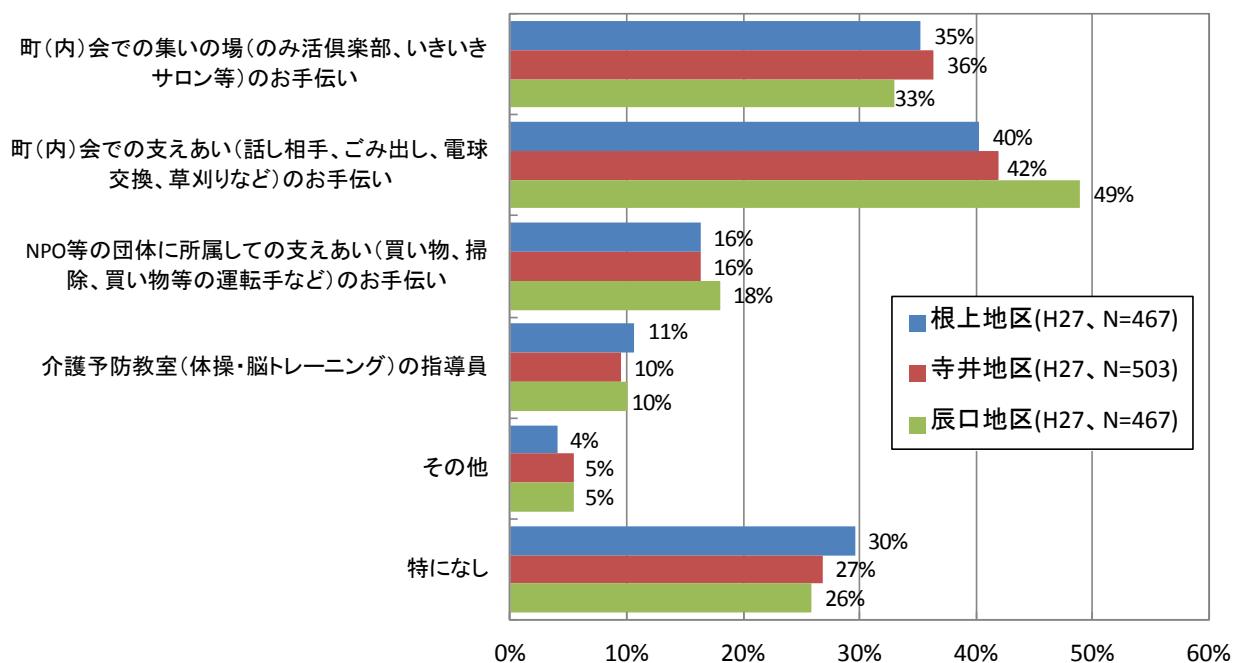
■高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動(年代別)

- ・ 30 歳代は「町（内）会での集いの場（のみ活倶楽部、いきいきサロン等）のお手伝い」が 28%と、他の年代と比べて 4 ポイント以上低くなっています。
- ・ 70 歳以上では「町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い」が 38%と他の年代と比べて 5 ポイント以上低くなっています。



■高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動(地区別)

- ・辰口では「町(内)会での支えあい(話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど)のお手伝い」が49%と他の地区と比べて7ポイント以上高くなっています。



■ 高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動(小学校区別)

- ・ 和気小学校区で「町(内)会での支えあい(話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど)のお手伝い」が 59% と他の小学校区と比べて 7 ポイント以上高くなっています。

